

# 戦前期・高等教育の入学試験 における「作文」課題一覧

ISHIKAWA TAJIHI  
石川 巧

## 序言

本稿は、明治以降の近代学校制度のもとで実施された入学試験、特に旧制高等学校（以下、高等学校と記す）、旧制専門学校（以下、専門学校と記す）、大学など、主に官立学校を中心とした高等教育機関の入学試験における作文問題のタイトルを収録したものである。

日本の官立教育機関が入学試験科目のひとつとして作文を課すようになるのは、明治二十年前後からである<sup>①</sup>。この時期に作文が普及した理由としてまず考えられるのは、明治十九年に学校令（小学校令、中学校令、帝国大学令）が公布され国家主導型の教育制度および教育内容が整備されるとともに、同年から教科書検定制度が始まり、日本全国の義務教育対象者に対して同じ教材が与えられるようになったことが想定される。初等教育から高等教育までの一貫したカリキュラムが整備されたことよって、上級学校が入学試験を行う場合は、客観的かつ統一的な問題を準備して下級学校の履修内容を総合的に評価することが

求められるようになった。また、上記の小学校令では修身、読書、作文、習字がそれぞれ独立した科目として置かれており<sup>②</sup>、その目的も「児童身体ノ発達ニ留意シテ道德教育及国民教育ノ基礎並其生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クル」と規定されていたため、その上級学校となる尋常中学校（各府県に一校ずつ設置され修業年限は五年）は、受験生の読み書き能力と「道德教育及国民教育ノ基礎」を同時に考查する必要性に迫られた。作文はそうした多義的な要素を包括する入試科目として、まず尋常中学校の入学試験などで用いられるようになった。

だが、それよりも上級となる教育機関、たとえば高等中学校（のち、明治二十七年に高等学校と改称）などでは作文が採用された形跡がない。当時の文部大臣・森有礼が演説のなかで「帝国大学八学問ノ場所ニシテ、中学校小学校ハ教育ノ場ナリ、特二高等中学校ハ半ハ学問半ハ教育ノ部類ニ属ス」と述べ、高等中学校を「社会上流ノ人ヲ養成スル場所」<sup>③</sup>と定位したように、作文はあくまでも「教育ノ場」における成果を問うものであり、同じ中学校のなかでも、全国から優秀な人材を集めて帝国大学に入学させるための予備機関として位置付けられ、「学問ノ場所」としての性格を併せもっていた官立の高等中学校<sup>④</sup>の場合、「日用書類」の作文能力は本来的に身につけておくべき素養とされ、入学試験でも古典・漢文の解釈に重点が置かれていたということである。

では、この時期に尋常中学校以降の上級学校で入試問題に

作文を採用していたのはどこか。西田富衛『各官立学校 入学試験問題全 附官立学校要覧』(有斐閣、明二十二年・十)によると、当時の官立学校には、帝国大学、高等師範学校、高等学校(第一、第五十山口、鹿兒島造士館)、高等商業学校、東京職工学校、東京高等女学校、東京美術学校、東京音楽学校、東京盲啞学校、学習院、華族女学校、陸軍大学校、陸地測量部修技所、陸軍士官学校、陸軍幼年学校、陸軍戸山学校、陸軍教導団、陸軍砲兵射的学校、陸軍軍吏学舎、陸軍軍医学舎、陸軍蹄鉄学舎、東京砲兵工廠生徒学舎、陸軍乗馬学校、海軍大学校、海軍兵学校、海軍医学校、海軍主計学校、海軍機関学校、東京農林学校、東京商船学校、函館商船学校、東京電信学校、札幌農学校があったが、うち入学試験で作文を課しているのは、専門学校と陸海軍関連学校だけである。具体的にいうと、高等商業学校予科十同附属主計学校が「販路拡張ノ為某地方商社へ某商品見本ノ届方ヲ旅行者へ依頼スル文」を、同別科一年生が「地方ニ在ル人ニ某品ノ買入方ヲ依頼スル文」を、東京商船学校が「書牘」人ノ近況ヲ問フニ答フ」、「記事」上野公園ニ遊フ記」を、東京農林学校予備科が「我邦人ノ外洋ニ向テ航行中難破シテ若干名ノ乗客横死シタリ其遺族ヲ撫慰救護センカ為メ之力義捐金ヲ募ル文」を、同簡易科が「農学林学獣医学ノ今日ニ必要ナルコトヲ地方ノ有志者ニ説キ其子弟ヲ某学校へ入学セシムルヲ勸ムル文」を、陸軍士官学校が「一、学友ノ遺文ヲ集録スルノ序一、招魂社ノ祭典ヲ観ルノ記 一、児島高德ノ論 一、駿馬之

説」を、同幼年学校が「(一) 春郊逍遥之記(二) 於某学校觀兵式運動記(三) 友人ニ与ヘテ兵学予備学会ヲ催サンコトヲ謀る文(四) 友人ノ我方武学生ト為ル本意ヲ問フニ答フル文」を、東京美術学校が「人ノ画ヲ問フニ答フル文」を、それぞれ出題していた。

つまり、この時期の高等教育入学試験科目としての作文は、義務教育での教育成果を総合的に問うために尋常中学校(明治二十七年以降は中学校)が行った作文と、より特殊かつ専門的な知識・技能を身につけることを目的とする専門学校(陸海軍関係学校も含む)の一部が、個々の受験生の人物像を見きわめるために実施した作文に限定されていたのである。

その作文が高等教育機関の入試科目として広く普及するのは、明治三十五年以降のことである。同年四月、文部省は高等学校大学予科入学試験規程を告示し、全国の志願者を同日・同一試験問題で成績順に希望校へ配当する総合試験制度を充足させる<sup>5)</sup>。それにともない、翌年度からの選抜試験科目は国語解<sup>6)</sup>、国語作文、国語文法、漢文解釈、国文英訳、英文解釈、英語文法、仏語書取、国文仏訳、仏文解釈、仏語文法、独語書取、国文独訳、独文解釈、独語文法、地理、算術、幾何、代数、三角法、物理、化学と定められ、個々の受験生が自らの志望校・志望部<sup>6)</sup>の要求する科目を選ぶことになった。したがって、高等学校の入学試験に作文が正式採用されるのは明治三十六年度からということになる。

また、明治三十六年三月には専門学校令が公布され、「専門学校ノ本科二入学セントスル者ニシテ中学校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女学校ヲ卒業セサル者は此規程ニ依リ検定ヲ受クヘキモノトス」(専門学校入学者検定規程・第一条)という受験資格が定められる。官立、公立、私立を問わず、「高等ノ學術技芸ヲ教授スル学校」はすべて専門学校となり、従来の商業、教育、医学、陸海軍関連学校に加えて、法律、経済、語学、文学、宗教、美術、音楽、体育など、様々な教育機関が文部省の管轄下に置かれるのである。文系理系を問わず幅広い入試科目を課す高等学校とは違い、専門学校の場合は、それぞれの専門領域ごとに必須となる科目や実技を課すことになるが、作文はその適性を判断するうえで非常に有効な手段と考えられた。折しも高等学校が同年から作文を入試科目に加えたこともあり、明治三十六年度以降、多くの専門学校がそれを導入していくのである。こうした事実関係にもとづき、本稿では明治三十五年(翌三十六年度からの実施)を高等教育の入学試験における作文普及の起点と捉え、この時期から戦前・戦中期までのあいだにどのような学校機関がどのような作文テーマを出題してきたのかを一覧にする。作文が入学試験科目として定着するということは、良い文章／悪い文章の違いを見極める客観的な基準ができあがり、それを段階的に評価する方法が確立されたことを意味する。また、個々の受験生レベルでいえば、文章というかたちで自己を表現すること、その技術を高めていくために訓練することが

求められるようになったことである。それぞれの時代においてどのようなテーマが課され、どのような基準で文章が評価されてきたかを追跡すること。それは、日本近代におけるリテラシー―読み書き能力の形成過程を詳らかにする取り組みでもある。本稿は、そうした取り組みを進めるための基礎作業である。

なお、一覧の作成にあたって次の点を留意事項として掲げておきたい。

- ① 本稿が掲げた作文問題一覧は、同時代の受験参考書、問題集、受験雑誌(「受験界」、「受験旬報」、「受験灯」、「受験と学生」、「受験」、「蜜雪時代」など)、文部省が発行する「文部時報」を資料として採取したものである(参考文献は本稿の末尾に記載)。当時の受験参考書などを調査すると、同一問題でありながら課題の表記が微妙に違っていたりする場合が多々あり、一言一句そのままの課題名を明らかにすることは困難である。可能な限り三点以上の資料を対照化し、より精度が高いと思われるものを採ったが、それでも微妙な表記の誤差があることをお断りしておく。

- ② それぞれの作文問題には、試験時間、文体、その他の注意事項が書かれているが、本稿では年次ごとに学校名とタイトルを表記するにとどめた。ちなみに、明治期の作文では

「候文」をはじめとして文体を指定する学校が数多くあり、筆記に關しても和紙に毛筆書きが基本だった。「文体随意」となるのは大正に入ってからであり、具体的な学校名<sup>⑥</sup>でいうと、山口高等商業学校が大正二年以降、米沢高等工業学校が大正六年以降、名古屋高等工業学校が大正七年以降、各高等学校、専門学校入学予備検定、広島高等師範学校が大正九年以降、北海道帝国大学農科大学、長崎高等商業学校、小樽高等商業学校が大正十年以降、陸軍士官学校予科、東京外国語学校が大正十三年以降となつている。

③ 昭和八年頃まで、大学入試で作文が課されるのは予科、専科、実科などがほとんどであった。同年以降、広島文理科大学などが導入し徐々に普及していくが、戦争が深刻化する昭和十五年頃からは再び激減していく。なお、昭和十七年度以降の入試問題に關しては多くの学校機関が入試内容を公開していないし、その内容を伝える資料も乏しいため、今後の課題とせざるを得なかつた。

④ 学校によつては、時代の変遷とともに校名が変更になつてゐる場合があるが、それについては変更された年にカッコ付で示し、次年度以降を新しい校名で表記している。

⑤ 学校名の表記順は、基本的に受験雜誌、参考書、問題集な

どに掲げられている順番を踏襲している。年度ごとに若干のブレがあると思うが、その点に關しては了とされたい。

⑥ 本稿は、筆者が現段階で調査しえた範囲で作成したものであり、戦前の作文問題を網羅したわけではない。また、項目の多くは官立、公立、私立の高等学校、専門学校の範囲にとどまつており、それ以外の教育機関に關しては遺漏も多いと考える。入学試験問題の性質上、正確な記録が残されていないものも多く、これが現段階での到達と考えている。

⑦ 一覧において、学校名のあとにあるカッコ内の数字は第一期、第二期といった期間ごとの区別をさす場合と、同一時期に行つた試験のなかに第一問、第二問といった具合に複数の設問が用意されている場合がある。受験関連資料にそのあたりの詳細な情報が記載されていないため、数字の意味を明確にすることができなかつた。

#### 【注記】

1 もちろん、それ以前にも文章を書かせるかたちでの選抜方法はあつたであろうが、それは個別の学校がそれぞれの方針に基づいて行つていたものであり、国家的な制度として導入されるようになるのはこの時代である。ただし、こうした始原への遡及が常にそうであるように、実際のと

ころ、作文という科目がいつどこから始まったのかを明らかにすることは困難である。

## 2 明治十九年に定められた「小学校ノ学科及其程度」(第十条)によれば、

「作文」の教育内容は、「尋常小学校ニ於テハ仮名ノ単語短句簡易ナル漢字交リノ短句漢字交リ文口上書類及日用書類高等小学校ニ於テハ漢字交リ文及日用書類」となっている。「読書」と「作文」は明治二十四年の改正で「読書及作文」科に統合され、「読書及作文ハ普通ノ言語並日常須知ノ文字、文句、文章ノ読み方、綴り方及意義ヲ知ラシメ適当ナル言語及字句ヲ用ヒテ正確ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ養ヒ兼テ智徳ヲ啓発スルヲ以テ要旨トス」(「小学校教則大綱」第三条)と規定される。また、明治三十三年には「読書及作文」と「習字」が統合されて「国語」科が成立する。

## 3 森有礼「宮城県庁において県官郡区長及び学校長に対する演説」(大日本教育会雑誌「明二十・七・十五」採録)。引用は大久保利謙編『森有礼全集 第一巻』(皇文堂書店、昭四十七・二)より。

4 中学校令によつて、明治二十年までに全国で七校の高等中学校(設立順に第一中学校(東京)、第三中学校(大阪)、山口中学校(山口)、第二中学校(仙台)、第四中学校(金沢)、第五中学校(熊本)、鹿児島高等中学校造士館(鹿児島)が誕生した。高等中学校の入学資格は満十七歳以上、尋常中学校卒業もしくはそれと同等の学力を有する者と規定され、修業年限は二年だった。のちに示される「高等中学校官制」(明治二十三年)は、それを「高等中学校ハ文部大臣ノ管理ニ属シ高等普通教育ヲ授ケテ及大学並高等専門学科ノ学習ニ須要ナル予備ヲ為サシムル所トス」(第一条)

と定義している。なお、中学校令に付随して公布された文部省令「高等中学校ノ学科及其程度」によると、当時の高等中学校の授業科目は、国語及漢文、第一外国語(英語)、第二外国語(独語又仏語)、ラテン語、地理、歴史、数学、動物及植物、地質及鉱物、物理、化学、天文、理財学(経済学)、哲学(心理及論理)、図画(画法幾何及用器画法)、力学、測量、体操(兵式体操)の十八科目で、週の授業時数は二十六〜三十時間だった。ただし、この「高等中学校」は明治二十七年に公布された高等学校令により「高等学校」と改称された。本稿では、明治二十七年より前の制度における「尋常中学校」、「高等中学校」と、それ以降の新制度によつて発足した「中学校」を厳密に分けている。

5 高等学校、大学予科入学試験規程(明治三五年文部省告示第八二号)による。この制度は特定の高等学校に志願者が集中して優秀な学生が不合格になることを是正する目的で実施された(中学校卒業資格のない者には、高等学校受験の前に、あらかじめ予備試験が実施された)。だが、諸問題により明治四十一年に廃止され、各高等学校が入試科目を個別に決定することになる(作文に関しても、実施する／実施しないが分かれる)。その後、大正六年に再び採用されたが二年後にまた廃止されている。大正十四年には総合選抜制のかわりに、受験生に二度の受験チャンスを与える「二班試験制」が実施されたが、これも昭和二年に廃止された。また、当時、高等学校卒業生はほぼ帝国大学への入学が保証されていたため、希望者が集中する一部の専門領域を除いて帝国大学は選抜試験を行う必要がなかった。

6 当時は第一部甲類(英吉利法律学科・同文科、政治学科)、乙類(独逸

法律学科・同文科）、丙類（仏蘭西法律学科・同文科）、第二部甲類（工科）、乙類（理科、農科、医科の内葉学科）、第三部（医科）の六部類から構成されており、受験生はそのなかから二箇以上（同一部内の部類に限る）を指定することができた。

### 作文課題名一覧

#### 明治三十五年

書北海道地図後  
緑蔭に書を読むの記  
操練を観るの記  
忍耐の必要を論ず  
古今武士の修学に異同ある所以を論ず  
何故に身を海軍に委ねんとするや  
郷里の地理を記せ  
落雷の記  
忠孝両立論  
旅行  
将来の希望と覚悟とを述べ  
衛生の必要

**明治三十六年**  
修学の意味  
楠公の銅像を見て  
青年論  
海外移住を奨励する文

### 避暑

海  
輸入貨物の買取を勧むる文  
忍耐の説  
海国民の本領  
吾は海を愛する者なり  
海

水泳場の設置を相談する文  
春日遠足の記  
余が最も好む武芸  
吾が幼時

体育の必要を論ず  
深山遊獵の記  
公德養成論

明治三十五年中の所感  
自己の学問の経歴  
本校に入学せんとする理由

**明治三十七年**  
真勇とは何ぞ  
遠征将士の勞を思ふ  
人の米國に遊学するを送る文  
江上の雨

今後に於ける日本商人の任務を論ず  
船舶保険依頼状  
海と文明  
我が水産業の将来

東京高等商業学校  
神戸高等商業学校予科第一部  
神戸高等商業学校  
盛岡高等農林学校

商船学校(1)  
商船学校(2)  
水産講習所(1)  
水産講習所(2)

陸軍士官学校予科(1)  
陸軍士官学校予科(2)

海軍兵学校(1)  
海軍兵学校(2)  
海軍機関学校(1)  
海軍機関学校(2)

東京高等師範学校  
東京女子高等師範学校  
千葉医学専門学校

高等学校  
専門学校入学予備検定  
札幌農学校  
東京高等商業学校  
神戸高等商業学校(1)  
神戸高等商業学校(2)  
商船学校  
水産講習所

東京高等商業学校  
東京女子高等師範学校  
千葉医学専門学校

東京高等師範学校  
東京女子高等師範学校  
千葉医学専門学校

東京高等師範学校  
東京女子高等師範学校  
千葉医学専門学校

東京高等師範学校  
東京女子高等師範学校  
千葉医学専門学校

東京高等師範学校  
東京女子高等師範学校  
千葉医学専門学校

東京高等師範学校  
東京女子高等師範学校  
千葉医学専門学校

東京高等師範学校  
東京女子高等師範学校  
千葉医学専門学校

東京高等師範学校  
東京女子高等師範学校  
千葉医学専門学校

吾が郷里の山川  
教育勅語を捧読して所感を記す  
海国民

陸軍士官学校予科(1)  
陸軍士官学校予科(2)  
海軍兵学校(1)

吾が出身学校の状況一斑

海軍兵学校(2)

大勇論

海軍機関学校(1)

観瀑の記

海軍機関学校(2)

交際

東京高等師範学校

知るは易く行ふは難き説

東京女子高等師範学校

時局日露の交戦を指すに對して吾人学生の守るべき責務

千葉医学専門学校

### 明治三十八年

戦時に於ける学生の覚悟

高等学校

某学科を修めんとする目的を親戚または友人に報ずる文

高等学校

初夏の暁

札幌農学校

志望未定の友人に与ふる書

東京高等商業学校

我が国と商業

神戸高等商業学校

戦捷後に於ける商業家の覚悟を論ず

山口高等商業学校

義勇奉公の道を論ず

長崎高等商業学校

海国民の事業

盛岡高等農林学校

出征軍人の友人に寄する文

商船学校

吾が教を受けし学校

水産講習所

月夜遠征の将士を憶ふ

陸軍士官学校予科(1)

学生の苦楽

陸軍士官学校予科(2)

父兄或は親戚に己れの近状を報ずる文

海軍兵学校(1)

戦死せし親友を祭る文

海軍兵学校(2)

海軍機関学校(1)

尽く書を信ぜば則ち書なきに如かざるの論  
武士道

海軍機関学校(2)  
東京高等師範学校

克己の説

東京女子高等師範学校

我等の前途

千葉医学専門学校

中学を卒へたる時の所感

仙台医学専門学校

### 明治三十九年

成功

高等学校

志ある者は事遂に成るの説

札幌農学校

家屋に就きて

東京高等商業学校

高等商業学校に志望する所以を父兄に告ぐる文

山口高等商業学校

遊学先より郷里の父兄に送る文

長崎高等商業学校

自己の希望は実業にあることを父兄に申述ぶる文

盛岡高等農林学校

船艦の効用

商船学校

戦後の水産業

水産講習所(1)

水産会社の設立を祝する文

水産講習所(2)

公德

陸軍士官学校予科(1)

恩師の凱旋を賀する文

陸軍士官学校予科(2)

旅行日記の一節

陸軍士官学校予科(3)

戦争に就きての所感

海軍兵学校(1)

友人に与へて己の志望を述べ

海軍兵学校(2)

海外にある友人に寄する文

海軍機関学校(1)

習性となるの説

海軍機関学校(2)

凱旋軍を歓迎す

東京高等師範学校

学生の本分

千葉医学専門学校

医術と文明

仙台医学専門学校

明治四十年

我が希望

高等学校

本邦の美風

専門学校入学予備検定

本を務むるの説

東北帝国大学農科大学(旧札幌農学校)

太陽の説

東京帝国大学実科

筆に就きて

東京高等商業学校

家具製造株式会社創立趣意書

神戸高等商業学校

落第せしために半途退学せんとする友人に忠告する文

山口高等商業学校

外国留学中なる友人に送る文

長崎高等商業学校

成功を論ず

盛岡高等農林学校

軍人の任務

商船学校

海

水産講習所(1)

漁業船の進水を祝する文

水産講習所(2)

忠孝一致の論

陸軍士官学校予科(1)

某学校に於ける卒業式の状況

陸軍士官学校予科(2)

外国にある友人に贈る文

陸軍士官学校予科(3)

国家の盛衰を論ず

海軍兵学校(1)

読書の趣味

海軍兵学校(2)

戦争

海軍機関学校

修学旅行先より父母の許に贈る文

東京高等師範学校

誠

東京女子高等師範学校

社会の制裁

千葉医学専門学校

我が郷の夏

仙台医学専門学校

明治四十一年

成功の秘訣

第三高等学校

我が前途

第四高等学校

学生の本分

第五高等学校

我が故郷

第六高等学校

人格

第七高等学校造土館

現代青年の覚悟

第八高等学校

余が今回の受験準備の一斑

専門学校入学予備検定

己に克つの説

東北帝国大学農科大学予科

時計に就きて

東京高等商業学校

職業に上下の別ありや否やを論ず

神戸高等商業学校

友人に書籍買入を依頼する文

長崎高等商業学校

現代学生の気風を論ず

盛岡高等農林学校

教育勅語を捧読して感を書す

商船学校(4月)

歳暮の感

商船学校(12月)

漁業

水産講習所(1)

水産講習所に入學したる友人に寄する文

水産講習所(2)

余が敬慕せる武將

陸軍士官学校予科(1)

擊劍を觀るの記

陸軍士官学校予科(2)

入嘗の友に贈る文

陸軍士官学校予科(3)

精神修養の必要を論じ併せてその方法に及ぶ

海軍兵学校(1)

最も愉快なりし日

海軍兵学校(2)

読書の樂み

東京高等師範学校

写真

東京女子高等師範学校

趣味の修養

千葉医学専門学校(1)

コッポ博士を迎ふ

千葉医学専門学校(2)



明治四十二年

学生生活

何をか成功といふ

修学之目的

友人の歐洲に遊学すを送る文

水に就きて

戊申詔書中「荒怠相戒め、自彊息まざるべし」の一句を解釈數

衍して一篇の文章を作れ

能書能文の必要

朝鮮の実業視察を勧誘する文

見本を送りて品物を注文する文

学生の覚悟

交際の必要

舟遊

海外在留の友人に水産業の状況を問合する文

遠洋航海中の友人に贈る文

余が軍人たらむとの志望を起せし由来

職務に忠実なるべき論

予が海軍兵学校入学試験の準備

武士道

雪中登山の記

我が学びし学校

時は得難くして失ひ易し

進取の氣象

明治四十三年

中学卒業後の様子を旧師に報ずる文

高等学校

専門学校入学予備検定

東北帝国大学農科大学予科

東京帝国大学農科大学実科

東京高等商業学校

神戸高等商業学校

山口高等商業学校

小樽高等商業学校

長崎高等商業学校

盛岡高等農林学校

商船学校

水産講習所(1)

水産講習所(2)

陸軍士官学校予科(1)

陸軍士官学校予科(2)

陸軍士官学校予科(3)

海軍兵学校(1)

海軍兵学校(2)

海軍機関学校

東京高等師範学校

東京女子高等師範学校

医学専門学校(千葉・仙台・金沢・長崎・岡山)

高等学校

春

学生の本分を論ず

父兄に修学旅行の模様を報ずる文

遊学者の孝道

文と武とは偏廃すべからず

旅行中より両親に送る文

欽慕する人及びその理由

鯨を捕ふる図を観る

余が志望

沿岸州の漁業状況を問合する文

旧師に恩を謝する文

修学旅行記の一節

忠臣伝を読む

予が最も畏敬する偉人

海外留学中の友に与ふる文

青年読書會設立趣意書

良菓は口に苦し

郊外散歩

我が郷里

明治四十四年

我が愛読する書

高等学校入学の志望を述べて父兄の承諾を求むる

時代の要求する人物

学問と品性

専門学校入学予備検定

東北帝国大学農科大学予科(1)

東北帝国大学農科大学予科(2)

神戸高等商業学校

山口高等商業学校

長崎高等商業学校

商船学校(1)

商船学校(2)

水産講習所(1)

水産講習所(2)

陸軍士官学校予科(1)

陸軍士官学校予科(2)

陸軍士官学校予科(3)

海軍兵学校(1)

海軍兵学校(2)

東京高等師範学校

東京女子高等師範学校

医学専門学校(千葉・仙台・金沢・長崎・岡山)

新潟医学専門学校

高等学校(1)

高等学校(2)

専門学校入学予備検定

東北帝国大学農科大学予科(1)

旧師に入学試験の成績を報ずる文

東北帝国大学農科大学予科(2)

海の眺望

予に最も深き印象を与へたる先輩の教訓

自重心の必要

旧師に送る時候見舞の文

学問の目的

国の富強と海運

学生の本分

友人の朝鮮に赴くを送る文

規律

過去五年間の回顧

士気を論ず

我が家庭

独を慎むの説

我が家庭

旅行の様子を父兄に報ずる文

医学専門学校(千葉・仙台・金沢・長崎・岡山)(1)

医学専門学校(千葉・仙台・金沢・長崎・岡山)(2)

明治四十五年ノ大正一年

吾等の前途

運動によりて得る修養

万国地図を見て感を記す

将来の志望

送金を郷里の父兄に乞ふ書翰文

本校卒業後の抱負

高等工業学校に入学を勧むる文

熊本高等工業学校

旅行先にて見聞せし事を父母に報ずる文

現代青年の覚悟

夏期旅行に就て

忠孝に就きて

此の試験に落第せば

都会と田舎

南極探検に赴く人に与ふる文

兵は氣にありて器にあらざる説

修身説話中最も感じたる一節

予の長所と短所とに就きて

先輩に友人を紹介する文

本年の夏期休業

撰生を忽にすべからざる説

学生の本領

大正二年

医師の本分

朋友

我が将来の志望

予が尊敬する史上の人物

新入学生歓迎会における新入学生総代の謝辞

人は何故に学ばざるべからざるか

本校入学の志望を述べて郷里の父兄に相談する文

下宿屋の周旋を頼む文

米沢高等工業学校

東北帝国大学農科大学予科

東京帝国大学農科大学実科

商船学校

盛岡高等農林学校

水産講習所

陸軍士官学校予科(1)

陸軍士官学校予科(2)

陸軍士官学校予科(3)

海軍兵学校(1)

海軍兵学校(2)

東京高等師範学校

東京女子高等師範学校

新潟医学専門学校

高等学校

専門学校入学予備検定

東北帝国大学農科大学予科

神戸高等商業学校

山口高等商業学校

小樽高等商業学校

長崎高等商業学校

長崎高等商業学校

長崎高等商業学校

長崎高等商業学校

長崎高等商業学校

長崎高等商業学校

長崎高等商業学校

本校入学試験に於ける受験の状況を父兄に報告する文

名古屋高等工業学校

郷里の状況を報ずる文

熊本高等工業学校

工業富国論

米沢高等工業学校

富士登山に就て

東京帝国大学農科大学実科

今の世

盛岡高等農林学校

現代学生界の通弊

鹿兒島高等農林学校

港湾の必要に就いて

商船学校

我が郷里

水産講習所(1)

中学卒業後の方針に就き先輩に教を乞ふ

水産講習所(2)

桃山御陵参拝の友人に送る文

陸軍士官学校予科(1)

大正聖代に於ける吾人の覚悟

陸軍士官学校予科(2)

予が居常心得とせる箇条に就きて

海軍兵学校(1)

競技優勝者に与ふる文

海軍兵学校(2)

日本海海戦の追想

海軍機関学校

我が朋友

東京高等師範学校

信用を重んずべきこと

東京女子高等師範学校

旅行の楽

医学専門学校(仙台・金沢・岡山・長崎)

読書の楽

新潟医学専門学校

**大正三年**

我が嗜好

高等学校

時代思潮と吾人の覚悟

専門学校入学予備検定

現代文明の欠陥

東北帝国大学農科大学予科

自己の崇拜する人格又は言行

神戸高等商業学校

入学試験の及第を報じて旧師に謝する文

名古屋高等商業学校

現代に処する日本男児の覚悟

山口高等商業学校

精神の涵養

小樽高等商業学校

長崎高等商業学校への入学を勧説する文

長崎高等商業学校

入学試験の及第を報じて旧師に謝する文

名古屋高等工業学校

自己の抱負を述べて師に教を乞ふ文

熊本高等工業学校

友人の不勉強を戒むる文

米沢高等工業学校

社会道徳に就て

東京帝国大学農科大学実科

現在の我が心

盛岡高等農林学校

近況を恩師に報じて懐旧の情を述ぶる文

鹿兒島高等農林学校

海上生活

商船学校

金銭論

水産講習所

未だ知らざる人に教を請ふ文

陸軍士官学校予科(1)

乃木大将の伝を読む

陸軍士官学校予科(2)

武術と精神修養との関係

海軍兵学校

海軍兵学校入学の志望を述べて父兄に許可を乞ふ文

海軍兵学校

我が学校生活

海軍機関学校(1)

常識

海軍経理学校(2)

運動会

東京高等師範学校

謙讓

東京女子高等師範学校

わが過去と将来

医学専門学校(仙台・金沢・岡山・長崎)

修養論

新潟医学専門学校

**大正四年**

人生と奮闘

高等学校

進取

専門学校入学予備検定

都会と地方と

東北帝国大学農科大学予科

先輩より将来の希望を問はれたるに答ふる文

世界大戦乱に就ての所感

貿易の必要

商業家としての覚悟

支那貿易の開業を祝する文

欧州大動乱に際し痛切に感じたる事

修養の必要

英語を学ぶの必要を論ず

欧州戦争に就て

試験場に臨みて

讀書論

機械力と人力

元氣論

戦死者の遺族を見舞ふ文

驕る者久しからざる論

教育勅語中「天壤無窮の皇恩を扶翼すべし」に就て

旧師に入学を報ずる文

海軍飛行機殉難者を弔す

海国

入学試験準備の記

わが心

我が希望

実力

己が希望

美術展覧会を見て所感を記す

東京高等商業学校

神戸高等商業学校

山口高等商業学校

小樽高等商業学校

長崎高等商業学校

名古屋高等工業学校

熊本高等工業学校

米沢高等工業学校

東京帝国大学農科大学実科

盛岡高等農林学校

鹿兒島高等農林学校

商船学校

水産講習所

陸軍士官学校予科(1)

陸軍士官学校予科(2)

海軍兵学校(1)

海軍兵学校(2)

海軍機関学校

海軍經理学校

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

医学専門学校

東京美術学校(1)

東京美術学校(2)

大正五年

男子の本領

向上の精神

予が郷里の感想

国憲及び国法とは何ぞ

学生時代と体力の養成

健全なる精神は健全なる身体に宿る

自己の近況を旧師に報ずる文

欧州戦乱に就ての所感

工業家の自覚

学生の本分を論ず

父母の間に答へて工業に志せる理由を述ぶる文

異郷に在りて父母の安否を問ふ文

自己の将来に就て恩師に教を請ふ文

青年の立志に就て

欧州戦乱の前途を想ふ

親友論

過去に於ける自己修養の経過及び其に對する将来の抱負

海 商船学校

病氣の爲め某学校入学試験を受け得ざりし友人に贈る文 水産講習所

海 陸軍士官学校予科

病氣の爲め某学校入学試験を受け得ざりし友人に贈る文 陸軍經理学校

海 陸軍兵学校

至誠 陸軍士官学校予科

歐洲大戦乱後に於ける吾人の覚悟 海軍兵学校

身体検査の前後 海軍機関学校

人格

欧州戦乱につきての所感

大正四年

女子の任務

別紙の絵画の光景を叙し併せてこれに就きての感想を述べよ

克己

図画師範科入学志願を学友に報ず

大正六年

愛国心

余の経歴と希望

読史所感

友人（実業家）の営業上に関する不評判を聞き注意を申送る文

精神の鍛錬

飛行家と人生

春の海

旅中より両親に送る文

我が希望

戦後に対する国民の覚悟

我が趣味嗜好

我が国青年の覚悟

欧州大戦後に於ける吾人の覚悟

友人の欧米に赴くを送る

現在を論じて我帝国青年の前途を述べ

道徳及び規律の意義につき自己の所信を述べよ

東京帝国大学農科大学実科

盛岡高等農林学校

商船学校

海軍經理学校

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

東京外国語学校

医学専門学校

東京美術学校（師範科）

高等学校

専門学校入学予備検定

東北帝国大学農科大学予科

東京高等商業学校

神戸高等商業学校

山口高等商業学校

小樽高等商業学校

長崎高等商業学校

東北帝国大学工学専門部

名古屋高等工業学校

熊本高等工業学校

米沢高等工業学校

桐生高等染織学校

東京帝国大学農科大学実科

盛岡高等農林学校

商船学校

父兄に某地遊学の許可を乞ふ文

吾が長所と短所

服従

犠牲の精神

犠牲の精神

犠牲の精神

故郷の山河

努力

女子の体育につきて

大正青年の覚悟

人格の修養

図画師範科入学志望に就いて

大正七年

欧州戦争の吾人に与ふる教訓

現代青年の覚悟

花より団子

北海道帝国大学予科（旧・東北帝国大学農科大学予科）

予の好める格言

職業の貴賤

山頂に立ちて

下宿屋の周旋を頼む文

長崎高等商業学校旅行の楽しみ

修養

受験の前日

我が国の工業に就て

我が故郷

陸軍士官学校予科（1）

陸軍士官学校予科（2）

海軍經理学校

海軍兵学校

海軍機関学校

海軍經理学校

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

東京外国語学校

医学専門学校

東京美術学校（師範科）

高等学校

専門学校入学予備検定

東北帝国大学農科大学予科

東京高等商業学校

神戸高等商業学校

山口高等商業学校

小樽高等商業学校

長崎高等商業学校

東北帝国大学工学専門部

名古屋高等工業学校

熊本高等工業学校

米沢高等工業学校

桐生高等染織学校

我が母校の特色

夏期休暇の利用に就て

余が入学を決するまで

信義徳業に就て

旧師に揮毫を乞ふ文

世界地図を見て感あり

自己の希望を旧師に報ずる文

世界地図を見て所感を記す

世界地図を見て所感を記す

世界地図を見て所感を記す

最も暑かりし日の日記

本校に入学する理由

女子の本務

火事見舞の礼に併せて自家の類焼の厄に罹りたる事を友人に申

送る文

努力

観梅の記

**大正八年**

吾が畏敬する人物

吾が長所と短所と

初夏の田園

入学希望学校の教授より卒業学校、愛読の和漢書、自己の最も

多く作る文体

書風の流派を問はれたるに答ふる文

送金を郷里の父兄に乞ふ文

我が母校

秋田鉱山専門学校

東京帝国大学農科大学実科

盛岡高等農林学校

商船学校

陸軍士官学校予科(一)

陸軍士官学校予科(二)

陸軍経理学校

海軍兵学校

海軍機関学校

海軍経理学校

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

東京外国語学校

医学専門学校

東京美術学校

高等学校

専門学校入学予備検定

北海道帝国大学予科

東京高等商業学校

東京高等商業学校

長崎高等商業学校

東北帝国大学工学専門部

予が家庭

外国語研究の必要

大戦後に於ける吾人の覚悟

飛行機に就て

我が思ふ所  
東京帝国大学農学部実科(旧東京帝国大学農科大学実科)

博愛と友誼とに就て  
盛岡高等農林学校

学科に好き嫌ひある友に忠告する文  
商船学校

現代青年の戒むべきこと  
陸軍士官学校予科(一)

欧州戦後に於ける我国民の覚悟  
陸軍士官学校予科(二)

至誠  
陸軍経理学校

至誠  
海軍兵学校

至誠  
海軍機関学校

至誠  
海軍経理学校

大戦乱に就きて感じたる事を記す  
東京高等師範学校

欧州戦乱に対する感想  
広島高等師範学校

我が家  
東京女子高等師範学校

大戦乱に鑑みて  
医学専門学校

我が家庭  
東京美術学校

**大正九年**

余が過去一年間の回顧

意義ある生活

青年の使命

在外友人に渡航致度旨を述べて其の地の近況を問合す文  
高等学校

中学時代の回顧  
専門学校入学予備検定

大正青年の覚悟  
北海道帝国大学予科

東京高等商業学校  
長崎高等商業学校

熊本高等工業学校

米沢高等工業学校

桐生高等染織学校

現代に処する帝国青年の覚悟

入学受験準備の記

我が長所短所に就いて所懐を述べ

在外の友人に与ふる書

近時の風潮と青年の覚悟

充実せる生活

国富と海運とに就て

同窓会開催に当り欧州より帰朝せる先輩に臨席を請ひ且つ実見

談を依頼する文

現代思想の趨勢に就きて感ずる所を記す

日本歴史を讀みて得たる所感

日本歴史を讀みて得たる所感

日本歴史を讀みて得たる所感

我が敬慕する古人

運は天にあらざして努力にあり

日本婦人の美点

その子弟の中学を卒業したるを賀して先輩に送る文

吾国の将来と吾人の覚悟

名古屋高等工業学校

熊本高等工業学校

米沢高等工業学校

東京帝国大学農学部実科

盛岡高等農林学校

鹿児島高等農林学校

商船学校

陸軍士官学校予科(1)

陸軍士官学校予科(2)

海軍兵学校

海軍機関学校

海軍經理学校

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

東京外国語学校

医学専門学校

機会

予が過去一年間の回顧

回顧一年

高等商業学校入学の志望を述べ

平和と戦争

報恩の念

出身学校の記

余が工業に志す所以

受験準備の所感

学生の本領

我が理想

明治神宮参拝記

青年の覚悟

協力

予が高農志望の動機

鳥取高等農林学校自立自営に就て

徴兵忌避の疑ある友に与ふる文

冬夜歴史を讀みて感あり

秋の夕

現代青年の気風に関する感想

愛国心

東宮殿下の御外遊に関して感したる所を述べよ

春曉

人生と趣味

東京商科大学予科(旧・東京高等商業学校)

名古屋高等商業学校

山口高等商業学校

小樽高等商業学校

長崎高等商業学校

名古屋高等工業学校(旧東北帝国大学工学専門部)

熊本高等工業学校

金沢高等工業学校

米沢高等工業学校

秋田鉱山専門学校

東京帝国大学農学部実科

盛岡高等農林学校

鹿兒島高等農林学校

陸軍士官学校予科(1)

陸軍士官学校予科(2)

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

東京外国語学校

医学専門学校

東京美術学校

東京外国語学校

医学専門学校

東京美術学校

大正十年

時

郷里の春

労働

習慣

先輩より近況を問はれたるに答ふる文

高等学校

北海道帝国大学予科

早稲田第一高等学院

早稲田第二高等学院

大正十一年

平和

旧師の思ひ出

友人某の製作品を平和博覧会へ出陣せんことを勧むる文

黄金の力と人格の力

我が家

太平洋における我が帝国の経済的地位

東亜に於ける我が民族の責務

平和と戦争

公德を論ず

試験の結果を父母に報ずる文

自覚

我が希望

文化生活と工芸との關係を論ぜよ

吾人当面の務

高等農林学校を志望する理由を述べ

土に親しめ

風土と人心

博愛と友誼とに就て

本校へ入学の目的

経済界の不況に鑑みて

雑誌を耽読する友人に与ふる文

黄金貴ぶべきか

皇太子殿下御外遊に就きての所感

秋興

鏡

高等学校

北海道帝国大学予科

東京商科大学予科

名古屋高等商業学校

小樽高等商業学校

長崎高等商業学校

彦根高等商業学校

仙台高等工業学校

熊本高等工業学校

米沢高等工業学校

広島高等工業学校

福井高等工業学校

東京高等工業学校

東京帝国大学農学部実科

盛岡高等農林学校

鹿児島高等農林学校

鳥取高等農林学校

商船学校

神戸商船学校

秋田鉱山専門学校

陸軍士官学校予科(一)

陸軍士官学校予科(二)

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

受験を終へて後旧師に上る文

書籍

礼儀

大正十二年

運動

母校の校風を論ず

春の悲哀

海外より帰朝の人に面会を乞ふ文

現代青年の行くべき道

読書の樂

我が交友

東亜における我が民族の責務

旧師を思ふ

工業技術者に必要なる覚悟

中学卒業後将来の志望につきて父母に相談する文

工業に志す者の根本問題

本学入学志望の理由

予が志望学科選択の動機

本校志望の動機を述べよ

余の趣味

田園生活

母校の恩師へ送る文

春

国民の本分に就て

海員養成の忽にすべからざるを論ず

東京外国語学校

大阪外国語学校

医学専門学校

高等学校

北海道帝国大学予科

早稲田高等学院(第一・第二)

東京商科大学予科

名古屋高等商業学校

山口高等商業学校

長崎高等商業学校

彦根高等商業学校

仙台高等工業学校

熊本高等工業学校

米沢高等工業学校

広島高等工業学校

浜松高等工業学校

徳島高等工業学校

東京高等工業学校

東京帝国大学農学部実科

宇都宮高等農林学校

鳥取高等農林学校

盛岡高等農林学校

商船学校

神戸商船学校



田舎道

秋田鉱山専門学校

真の幸福

陸軍士官学校予科(1)

実業を志せる友に我が心事を告ぐる文

陸軍士官学校予科(2)

余が学びし学校

海軍兵学校

余が学びし学校

海軍機関学校

予が学びし学校

海軍経理学校

健康の価値

東京高等師範学校

童謡に就ての感想

広島高等師範学校(教育科)

郷土異聞

広島高等師範学校(理科)

現代青年の覚悟

東京外国語学校

自白

大阪外国語学校

力

愛知医科大学予科

病

大阪医科大学予科

電気

医学専門学校

大正十三年

人情

高等学校

人の智力

北海道帝国大学予科

先輩より実業家の最も大切な資格は何にありやと問はれたるに答ふる文

実業及び実業家

東京商科大学予科

実業と常識

名古屋高等商業学校

入学試験の合格を旧師に報ず

山口高等商業学校

青年の楽しみ

長崎高等商業学校

吾が希望

彦根高等商業学校

実業志願の青年を紹介する文

横浜高等商業学校(中学出)

横浜高等商業学校(商業出)

太平洋

山と河

我が闊歴と抱負

運動の効果

震災に対する感想

復興と工業

我が中学時代の思出

帝都大震災の記

人格の力

日本歴史を讀みて所感を述べ農学部に入學を志望する理由

春

労働

母校の恩師へ送る文

勤儉力行

日本国民の覚悟

熟慮断行

現代に対する青年の覚悟

大自然の力

新聞紙

我等青年の覚悟

電気

友

我が敬愛する人々

台北高等商業学校

仙台高等工業学校

旅順工科大学予科

熊本高等工業学校

米沢高等工業学校

広島高等工業学校

浜松高等工業学校

徳島高等工業学校

秋田鉱山専門学校

東京高等工芸学校

東京帝国大学農学部実科

盛岡高等農林学校

宇都宮高等農林学校

鳥取高等農林学校

商船学校

神戸商船学校

陸軍士官学校予科

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

東京外国語学校

医学専門学校

千葉医科大学予科

東京女子大学

大正十四年

新聞紙

高等学校

改造

趣味

学徒の使命

某先輩より今回特に商学専門部に志望したるは如何なる点にあるやと垂問せられたるに答ふる文

心

現代に処する吾人の覚悟

先輩の本校を卒業するに寄する文

高商の志望者は如何なる人が適當なるやを問はれたるに答ふる文

士魂商才

社会と我

高商志望の動機

専門学校入学に關し其の選定問合せに答ふる文

朝鮮に就きて

青年技術家の覚悟

我が国民性

商工受験の希望を恩師に報ずる文

回顧十年

我が志望

我が幼児の回想

努力

余の実践し来る精神修養

農村振興の必要

古より今の世の優れること劣れること

公徳に就て

富山高等学校

北海道帝国大学予科

早稲田第一高等学院

東京商科大学専門部

名古屋高等商業学校

山口高等商業学校

長崎高等商業学校

松山高等商業学校

富山高等学校

北海道帝国大学予科

早稲田第一高等学院

東京商科大学専門部

名古屋高等商業学校

山口高等商業学校

長崎高等商業学校

松山高等商業学校

高松高等商業学校

彦根高等商業学校

横浜高等商業学校(中学出)

横浜高等商業学校(商業出)

京城高等商業学校

仙台高等工業学校

旅順工科大学予科

広島高等工業学校

福井高等工業学校

桐生高等工業学校(旧・桐生高等染織学校)

浜松高等工業学校

山梨高等工業学校

東京高等工芸学校

東京帝国大学農学部実科

京都宮高等農林学校

商船学校(1)

共存共栄

春日舟遊の記

人生と海

人生の行路

人の力

努力

努力

海軍機関学校志願を友人に勧むる文

共存共栄

春日舟遊の記

人生と海

人生の行路

人の力

努力

努力

海軍機関学校志願を友人に勧むる文

我が友

吾人の眼に映じたる現代世相

母

我が国民の使命を論ず

民族の發展

純なる若人の意気

共同精神

人の一生

勇氣

思想善導

いづくに光を求めん

人生と海

商船学校(2)

神戸高等商船学校(元・神戸商船学校)

水産講習所

秋田鉱山専門学校

陸軍士官学校予科

海軍兵学校

海軍經理学校

海軍機関学校

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

東京外国語学校

大阪外国語学校

満洲医科大学予科

京城帝国大学予科

千葉医科大学予科

金沢医科大学予科芽生芽生東京女子大学

大東文化学院

女子英学塾

東京美術学校

大正十五年／昭和一年

発明

労働

讀書

成功と失敗

山

高等学校(1班)

高等学校(2班)

富山高等学校

専門学校入学予備検定

北海道帝国大学予科

試験の朝

京城帝国大学予科

我と我が環境

早稲田高等学院(第一・第二)

知人の商大専門部を卒業して実業界に入りしを祝する文

勤勞の楽しみ

東京商科大学予科

正直は最善の道なり

名古屋高等商業学校

高等商業学校への入学を勸説する文

山口高等商業学校

現時に於ける学生の気風

長崎高等商業学校

吾人の進むべき道

松山高等商業学校

現代の要求する青年実業家

高松高等商業学校

現代の要求する青年実業家

和歌山高等商業学校

機械と人

横浜高等商業学校

常識の必要

仙台高等工業学校

我が健康法

熊本高等工業学校

我が友

広島高等工業学校

趣味

福井高等工業学校

我が家

山梨高等工業学校

現代社会の評論

桐生高等工業学校

我が故郷

台南高等工業学校

常識の必要

浜松高等工業学校

現代青年の意気

松本高等工業学校

我が郷土観

秋田鉱山専門学校

偉人に就て

東京帝国大学農学部実科

太平洋

東京高等商船学校(旧商船学校)

源頼朝論

水産講習所

兵の勝敗は人にあり

陸軍士官学校予科

兵の勝敗は人にあり

海軍兵学校

軍人

海軍機関学校

歳晚

東京高等師範学校

冬枯

広島高等師範学校

油断大敵

東京女子高等師範学校

私の周囲

奈良女子高等師範学校

我が理想とする人物

東京外国語学校

人格

千葉医科大学予科

病

大阪医科大学予科

将来の希望

日本大学専門部(歯科)

我が家の人々

東京女子大学

我が環境

女子英学塾

昭和二年

国民性

高等学校(1班)

時代精神

高等学校(2班)

既住の生活を顧みて

富山高等学校

昭和の御世に処する吾人の覚悟

学習院高等科

明治節

成蹊高等学校

創造

専門学校入学予備検定

昭和ノ新時代ヲ論ズ

京都帝国大学(経済)

都会

北海道帝国大学予科

友情

京城帝国大学予科

現代の社会に対する我が感想

早稲田第二高等学校

私の過去と将来の希望

名古屋高等商業学校

実力養成の工夫

山口高等商業学校

母校の校風を論ず

長崎高等商業学校

昭和の御世に処して

高松高等商業学校

新日本の国是  
社会と我

松山高等商業学校  
横浜高等商業学校

余が学びし学校  
愛好する金言

神宮皇学館本科  
東京外国語学校

愛郷  
自己の志望を述べて長上の教を乞ふ文

仙台高等工業学校  
広島高等工業学校

昭和時代と日本国民  
国民の本分

大阪外国語学校  
千葉医科大学予科

忘れ得ぬこと  
我が生ひ立ち

福井高等工業学校  
浜松高等工業学校

人生の価値  
創造

熊本医科大学予科  
愛知医科大学予科

人生  
中等学校時代の感想

山梨高等工業学校  
熊本高等工業学校

病従口入禍従口出  
恩

満洲医科大学予科  
東京女子大学

努力  
煙

桐生高等工業学校  
京城高等工業学校

我が生立ち

女子英学塾

帝國の現状と青年の覚悟  
工芸の技術者たらんとせる動機と将来の覚悟

秋田鉱山専門学校  
東京高等工芸学校

昭和三年  
流行

高等学校(第一、第二、第三、第四)  
専門学校入学予備検定(男)

農業と科学  
師恩に就て

東京帝国大学農学部実科  
東京高等商船学校

責任  
自覚

第五高等学校運動競技所感  
第六高等学校

協同一致  
海国の幸

神戸高等商船学校  
水産講習所

我が生活  
内省の力

第七高等学校造土館  
第八高等学校

農村の青年に告ぐ  
言語

東京高等蚕糸学校  
陸軍士官学校予科

過去一年を顧みて  
今と昔

松本高等学校  
松江高等学校

国民皆兵論  
国民皆兵論

海軍経理学校  
海軍兵学校

左の歌を読んで印象を一つの文に纏めて呉れ給へ「すくすくと  
生ひたつ麦に腹すりて燕とびくる春の山畑

松山高等学校

現代青年の気風  
大正十五年を送る

海軍機関学校  
東京高等師範学校

道  
自分の抱負

山口高等学校  
水戸高等学校

育英の道に志して  
冬枯

東京高等師範学校(教育)  
広島高等師範学校(文科・理科)

意義ある生活  
運動

佐賀高等学校  
大阪高等学校

感謝  
私の周囲

東京女子高等師範学校  
奈良女子高等師範学校

力

福岡高等学校  
静岡高等学校

我が生活

我が好む人物

水

我が理想の学生生活

光

科学知識の必要

学生と趣味

現代と吾等

人生と信用

努力

次の長文の大意を二百字以内の短文に綴れ(本文略)

自治心と公共心

将来の方針に就き旧師に相談する文

私の誇

正しき事を行ふ勇氣に就いて

余が理想とする学生生活

高商入学の志望を述べて父兄の了解を求むる手紙

京城高等商業学校へ入学を志願せし理由

交通機関

吾等の進むべき道

科学的精神

産業

土

農業

東京帝国大学農学部実科

東京帝国大学農学部教員養成所

東京帝国大学農学部実科

姫路高等学校

浦和高等学校

広島高等学校

富山高等学校

浪速高等学校

学習院高等科(1)

学習院高等科(2)

成蹊高等学校

東京商科大学予科

東京商科大学専門部

神戸高等商業学校(1)

神戸高等商業学校(2)

名古屋高等商業学校(商業出)

名古屋高等商業学校(中学出)

山口高等商業学校

長崎高等商業学校

福島高等商業学校

京城高等商業学校

北海道帝国大学予科

仙台高等工業学校

金沢高等工業学校

山梨高等工業学校

東京帝国大学農学部実科

東京帝国大学農学部教員養成所

東京帝国大学農学部実科

東京帝国大学農学部教員養成所

東京帝国大学農学部教員養成所

抱負

本校卒業後の抱負

生ひ立ちより本校入学を志望するに至りしまでの回想

水原高等農林学校(1)

京都高等蚕糸学校

京都高等商船学校

東京高等商船学校

神戸高等商船学校

水産講習所

陸軍士官学校予科

海軍兵学校

海軍経理学校

海軍機関学校

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

奈良女子高等師範学校

満洲教育専門学校

神宮皇学館本科

大東文化学院

旅順工科大学予科

東京外国語学校

大阪外国語学校(1)

大阪外国語学校(2)

千葉医科大学予科

熊本医科大学予科

満洲医科大学予科

熊本薬学専門学校

吾が故郷

運動の目的に就て

怠惰の友を戒しむ

余が抱負

大空

日本の将来と青年の覚悟とを論ず

日本の将来と青年の覚悟とを論ず

軍備

冬の朝

山路

常識

入学志望を決する迄

青春

余が正しと信ずる生活

我が理想

故郷

時勢の転進と学生

人事と天命

亜細亜の将来

春

昭和青年の覚悟

熟慮断行

人

涙

願はしいこと

普通選挙

日本婦人の進むべき道

空

航空機

我が愛読書

海

我等の時代

昭和青年の覚悟

人格の修養

余が正しと信ずる生活

昭和四年

我が癖

感激

試験の前日

趣味

言語

春の光

時

旅

過去を顧みて

現代の学生

日本国民の理想

日本人

東洋と西洋

帝国女子薬学専門学校

東京女子大学

慶応義塾大学予科

女子英学塾

大阪府立女子専門学校

宮城県女子専門学校

福岡県女子専門学校(家政)

福岡県女子専門学校(文科)

京城法学専門学校

通信官吏練習所

武道専門学校

神宮皇学館本科

第一高等学校

第五高等学校

第六高等学校

第七高等学校造士館

第八高等学校

松本高等学校

山口高等学校

水戸高等学校

佐賀高等学校

大阪高等学校

福岡高等学校

静岡高等学校

光

俳句と和歌との夫々によつて小品文を一つ作れ。「春雨や蜂の

巢伝ふ屋根の漏 芭蕉」、「むらきもの心染しも春の日に鳥のむ

らがり遊ぶを見れば 良寛」

過去一年間を回想して

時

我が崇敬する偉人

我が生立ち

神社

女性美

模倣

応用

得意又は失意の思出

我が建国の精神

春

わが願ひ

われ

自己の解剖

常識カラ見タ法律ノ必要

己が確心

現代学生の思潮

入学難

古典研究の現代に於ける意義

紀律と成功

我が経歴と希望

故郷

浪速高等学校

姫路高等学校

浦和高等学校

新潟高等学校

広島高等学校

富山高等学校

学習院高等科

専門学校入学予備検定(男)

専門学校入学予備検定(女)

北海道帝国大学予科

北海道帝国大学予科

京城帝国大学予科

東京帝国大学予科

東京帝国大学農学部実科

早稲田第一高等学校

早稲田第二高等学校

早稲田大学高等師範部

早稲田大学専門部(法)

慶応義塾大学予科(文・経・法・医)

慶応義塾大学高等部

同志社大学予科

国学院大学予科

東京商科大学予科

同商業教員養成所

神戸高等商業学校

受験第一日の感想を先輩に報ずる文

名古屋高等商業学校(商業出)  
名古屋高等商業学校(中学出)

共存共栄  
流行

山口高等商業学校

我が国史観

長崎高等商業学校

運動精神(スポーツスピリット)に就いて

松山高等商業学校  
福島高等商業学校

東北地方  
自由と公德

横浜高等商業学校(中学出)

横浜市に対する感を友人に報ずる文

横浜高等商業学校(商業出)  
横浜商業専門学校

青年の楽しみ  
帝国の南端に立ちて

台北高等商業学校(中学出)  
台北高等商業学校(商業出)

試験前の一箇年を顧みて  
家風

京城高等商業学校  
高千穂高等商業学校

父母の恩  
社会奉仕

旅順工科大学予科  
金沢高等工業学校

共存共栄  
共存共栄

米沢高等工業学校  
桐生高等工業学校

我が建国の精神  
春

東京高等農林学校(1)  
東京高等農林学校(2)

私の家庭  
恩師の印象

水原高等農林学校(1)  
水原高等農林学校(2)

田園と都市  
寛容と共同生活に就いて

水原高等農林学校(3)  
東京高等商船学校(1)  
東京高等商船学校(2)

服従と人生とに就いて

東京高等商船学校(2)

憂ふべきは浮華輕佻の悪風なり

神戸高等商船学校(1)

国民一致協力は国難打開の原動力なり  
南米ニ移住スル友人ヲ送ル  
国を富ます道

神戸高等商船学校(2)  
東京高等蚕糸学校  
水産講習所

我が観たる現代日本

陸軍士官学校予科

旅行の趣味  
旅行の趣味

海軍兵学校  
海軍経理学校

神州男子の覚悟  
過去を顧みて

海軍機関学校  
東京高等師範学校

童心

広島高等師範学校(教育科)

高等師範学校入学志望の覚悟を旧師に報ずる文

広島高等師範学校(文科・理科)  
奈良女子高等師範学校

時  
米

東京女子高等師範学校  
満洲教育専門学校

正直  
我が好むくだもの  
学生の本分を論ず

大東文化学院  
神宮皇学館本科

正直  
我が最も感激せし事件  
昭和時代の予想

大東文化学院  
大阪外国語学校

良心  
社会奉仕

大阪医科大学予科  
千葉医科大学予科

天  
日本婦人の将来

熊本薬学専門学校  
帝国女子薬学専門学校

自ら読む  
衛生の本義

日本大学専門部(歯科)  
九州歯科医学専門学校

新婦人

東京女子大学

なぜ私は英語を学ぶか  
校門ヲ潜リテ(但シ東京美術学校)

女子英学塾

私の工芸美術観

東京美術学校(図画師範科)

家庭

東京美術学校(図案・金工・鑄造・漆工科)

春

宮城県女子専門学校(家政科)

人

宮城県女子専門学校(文科)

流行

京都府女子専門学校

わが将来の希望

京城法学専門学校

昨今ノ世態ニ就キテ感想ヲ述ベヨ

通信官吏練習所

現代青年の気風

測候技術官養成所

我等の理想

武道専門学校  
東京音楽学校

### 昭和五年

父母

第一高等学校

世界大戦の影響

第二高等学校

我が過去

第四高等学校

夢

第五高等学校

特に高等学校へ入学志願した理由

第六高等学校

水

第七高等学校造士館

責任感

第八高等学校

共同生活

松本高等学校

波

山口高等学校

試験の状況を報ず

水戸高等学校

我が敬愛する人物

佐賀高等学校

紀元節

大阪高等学校

交通

風景

反省

高校生活に対する私の期待

物理・化学を学びて感じたること

建国の精神

高等学校生活に何を期待して居るか

志望科類を決定するまでにどんな事を考慮したか

充実せる生活

国産愛用

自己を語る

現代の偉業

人生と勤勞

礼儀

左ノ俳句ニ聯想セラルル情景ヲ描ケ——出代や春さめざめと古

葛籠

次の俳句を鑑賞せる一文を草せよ

汐干潟隣の国へつゞきけり

水ぬるむ頃

我等は何故に学ぶか

わが運命観

将来ノ希望(1) / 最毛好ム季節(2)

過去一年間を回顧して

己が過去を顧みて

政治教育

福岡高等学校

静岡高等学校

高知高等学校

富山高等学校

浪速高等学校(理科)

府立高等学校

台北高等学校(1)

台北高等学校(2)

学習院高等科

専門学校入学予備検定(女)

北海道帝国大学予科

北海道帝国大学農学部実科

東京帝国大学農学部実科

東京帝国大学農学部教員養成所

九州大学(法文)

広島文理科大学(第1次)

広島文理科大学(第2次)

早稲田第一高等学校

早稲田第二高等学校

早稲田大学専門部(政治経済)

早稲田大学専門部(法)

早稲田大学専門部(文・経・法・医)

慶応義塾大学高等部

慶応義塾大学高等部

慶応義塾大学高等部



学生生活

人にして神なるもの

国文学の意義

過去を顧みて

東洋民族の将来

正義

現代青年の使命

海外に移住せんとする友を激励する文

現代の世相を眺めて

世界に於ける我が帝国の地位

余が讀書

社会 松山高等商業学校昭和青年の覚悟

商人としての覚悟

春宵雜感

商人としての覚悟

第一步

創造と模倣

儀礼

自由と平等

国民道徳に就きて

海国と海運に就て

海上より

海と川

養蚕組合の成立を祝す

偉人礼讃

同志社大学予科

国学院大学予科(1)

国学院大学予科(2)

中央大学予科

日本大学予科

東京商科大学予科

同商業教員養成所

名古屋高等商業学校(商業出)

名古屋高等商業学校(中学出)

山口高等商業学校

長崎高等商業学校

福島高等商業学校

横浜商業専門学校

台北高等商業学校(中学出)

慈母の教訓

高千穂高等商業学校

旅順工科大学予科

金沢高等工業学校

東京高等農林学校

水原高等農林学校

東京高等商船学校(1)

東京高等商船学校(2)

神戸高等商船学校

水産講習所

京都高等蚕糸学校本科

我が故郷

祖先崇拜

我が国体の精華と吾人の覚悟

我が国体の精華と吾人の覚悟

我国

希望

道

信用

道

昨夜 わが試験中の生活を顧みて

わが漢文専攻の目的

第一步

昨夜

我等の国民的使命

就職難時代に処する覚悟

我が理想

私の趣味

思ひ出すことなど

婦人と社会

花の雲鐘は上野か浅草か

朋友

現代の思想

人生ノ幸福

日本

熊本薬学専門学校悩み

私の母

京都高等蚕糸学校実科

陸軍士官学校予科

海軍兵学校

海軍經理学校

海軍機関学校

東京高等師範学校

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

奈良女子高等師範学校

満洲教育専門学校

神宮皇学館本科

大東文化学院

旅順工科大学

満洲教育専門学校

東京外国語学校

大阪外国語学校

満洲医科大学予科

京城医学専門学校

昭和医学専門学校

東京女子医学専門学校(1)

東京女子医学専門学校(2)

千葉医科大学予科、薬学専門部

日本大学専門部(歯科)

九州歯科医学専門学校

東京女子大学

女子英学塾(本科)

女子英学塾(予科)

流行に就きて論ず

草木

動き

動き

私の趣味

わが過去を顧みて

我が郷里

我が生立ち

自信の力

昭和六年

春

感謝

忘れ得ぬこと

我が最も感激した行為

文章

早春の一日

青年の元気

春の野

明治から昭和へ

私と私の周囲

余の最も感ずる事

教育勅語を読み奉りて

自己

努力

日本の将来

力

大阪府立女子専門学校(本科)  
大阪府立女子専門学校(予科)

広島県女子専門学校  
鹿児島県女子専門学校

東京美術学校(工藝)

京城法学校(予科)

通信官吏練習所

測候技術官養成所

筑豊鉱山学校

第一高等学校

第四高等学校

第五高等学校

第六高等学校

第七高等学校造士館

松本高等学校

松江高等学校

山口高等学校

水戸高等学校

佐賀高等学校

大阪高等学校

福岡高等学校

静岡高等学校

姫路高等学校

弘前高等学校

内省

我が修学の方法とその得失

時かぬ種は生えぬ

空中飛行

将来に対する我等の覚悟

我が責務

己を省みて

余が将来の希望

愛国心

現代の偉人

受験地より旧友へ

自叙伝の一節

忘れ得ぬ人々

最近の感想

現代青年の覚悟

学生ノ本分

我が志望

我が志望

高等部入学試験の感想

自重の精神

機会

国産愛用を友人に勧むる文

我が信念

己を制する者は最も強

我が希望

余が交友

我が畏敬する人物

新潟高等学校(文科)  
新潟高等学校(理科)

広島高等学校

東京高等学校

富山高等学校

浪速高等学校

学習院高等科(文科)

学習院高等科(理科)

専門学校入学予備検定(男)

北海道帝国大学予科

京城帝国大学予科

早稲田第一高等学校

早稲田第二高等学校

早稲田大学高等師範部

早稲田大学専門部(政治経済・商)

早稲田大学専門部(法)

慶応義塾大学予科(文・経・法)

慶応義塾大学専門部(医)

慶応義塾大学高等部

東京商科大学予科

東京商科大学専門部、同商業教員養成所

名古屋高等商業学校(商業出)

名古屋高等商業学校(中学出)

山口高等商業学校

小樽高等商業学校

長崎高等商業学校

福島高等商業学校

信用

朋友

学生生活に於ける体育運動の意義を論ず

我が国体の精華に就て

趣味に生きよ

反省

わが志望

土

愛校心

郷里の情況を入営中の友人に報ずる文

余の経歴

農村の青年

自由と服従

青年時代と心身の鍛錬

友情

知識と道徳

現代

現代

希望

冬の夜

友情

雨

家

信

論語を読む

我が理想  
汽車旅行の感想

彦根高等商業学校

和歌山高等商業学校

横浜高等商業学校

松山高等商業学校

台北高等商業学校

金沢高等工業学校

台南高等工業学校

東京帝国大学農学部実科

九州帝国大学(法・文・工)

東京高等蚕糸学校

京都高等蚕糸学校本科

京都高等蚕糸学校実科

神戸高等商船学校(1)

神戸高等商船学校(2)

水産講習所

陸軍士官学校予科

海軍兵学校

海軍経理学校

海軍機関学校

東京高等師範学校

広島高等師範学校(教育科)

広島高等師範学校(文科・理科)

東京女子高等師範学校

奈良女子高等師範学校

大東文化学院

東京外国語学校  
大阪外国語学校

新聞

余が経歴中特筆すべき一節

薬学者の使命

国民精神

上京の感想

職業

過去を顧みて将来の希望を述べ

人生と植物

此の頃の私

或日の記

流行を語る

新聞

我が故郷

吾想ふ

朝日に向つて

卒業式当日の思ひ出

感謝のこゝろ

国

吾想ふ

朝日に向つて

努力

(一) 科学と文化、(二) 我方生立ち

満洲医科大学予科

京城医学専門学校

千葉医科大学予科、薬学専門部

東京女子医学専門学校

日本歯科医学専門学校

大阪歯科医学専門学校

九州歯科医学専門学校

熊本薬学専門学校

帝国女子薬学専門学校

東京女子大学

女子英学塾

東京美術学校(工芸)

大阪府立女子専門学校(本科)

大阪府立女子専門学校(予科)

鹿児島県女子専門学校

鹿児島県女子専門学校

宮城県女子専門学校

福岡県女子専門学校

京都府女子専門学校

広島県女子専門学校

広島県女子専門学校

通信官吏練習所

測候技術官養成所

昭和七年

わが生立

今の経済界と学生生活

第一高等学校

第二高等学校

目標

力

幼年時代の思出

日本

克己

我が愛読書

我が崇拜する人物

国防

祖国愛

余の最も愉快に感ずる事

旅

各自の思ふまゝを述べよ

生命

光

機械

故郷

我が過去と現在

音

礼儀

高等学校を志望せし理由

受験地より

吾等青年の覚悟

責任觀念

正義

人の道

我が地方の特色

第四高等学校

第五高等学校

第六高等学校

第七高等学校造士館

第八高等学校

松江高等学校(文科)

松江高等学校(理科)

松山高等学校

山口高等学校

水戸高等学校

佐賀高等学校(文科)

佐賀高等学校(理科)

大阪高等学校

福岡高等学校

静岡高等学校

弘前高等学校

新潟高等学校(文科)

新潟高等学校(理科)

広島高等学校

東京高等学校

富山高等学校

台北高等学校

学習院高等科(文科)

学習院高等科(理科)

専門学校入学予備検定(男)

専門学校入学予備検定(女)

北海道帝国大学予科、同農学部実科

母校の思ひ出

今日の世相を観察す

我等の使命

此の世を如何に見るか

時局に対する青年の覚悟

吾が家、吾が郷

現下の日支事変と我国青年の覚悟

友人の不勉強を戒むる文

満蒙問題に対する感想

挙国一致

吾等青年の覚悟

正義

海外視察に赴く恩師に呈する文

余が日常生活

報恩

満蒙出征の先輩に贈る

時局に対する青年の覚悟

今回の戦争に頭はれたる日本人の忠勇に就て

農

癪

受験地より

現代に於ける国際信義を論ず

(一) 青年学生の本領(論文)、(二) 港(小品文)

西洋文明と東洋文明とを比較して論ぜよ

横浜商業専門学校(中学出)

京城帝国大学予科

慶応義塾大学予科(文・経・法)

慶応義塾大学高等部

早稲田第一高等学院

早稲田第二高等学院

早稲田大学高等師範部

早稲田大学専門部(政治経済)

早稲田大学専門部(法)

早稲田大学専門部(商)

明治専門学校

東京商科大学予科

東京商科大学専門部、同商業教員養成所

名古屋高等商業学校(商業出)

名古屋高等商業学校(中学出)

小樽高等商業学校

福島高等商業学校

山口高等商業学校

松山高等商業学校

彦根高等商業学校

台北高等商業学校(中学出)

台北高等商業学校(商業出)

大連高等商業

横浜商業専門学校（商業出）

正義の力  
発明心とは何ぞや  
日本文化の変遷を論ず

旅順工科大学予科  
神戸高等工業学校

私にとつて貴い体験  
我国軍人の忠勇無比なる所以  
挙国一致

京城医学専門学校  
熊本薬学専門学校  
明治専門学校  
東京女子大学

太陽

横浜高等工業学校（建築）

鏡

父母の恩

京城高等工業学校

学窓を出で、  
美術と国家

東京美術学校（図画師範科）

野

東京帝国大学農学部実科

異郷にある友へ送る文

東京美術学校（工藝）  
通信官吏練習所

現代青年の覚悟

京都高等蚕糸学校

新聞

東京高等商船学校

昭和八年  
未来

我が国軍人の忠勇無比なる所以  
近況を恩師に報ずる文

神戸高等商船学校

国家と青年

感激

水産講習所

経験

公德心

陸軍士官学校予科

在満の将士に

公德心

海軍経理学校

正義

友

海軍機関学校

旧師に近況を報ずる文

わが少年の頃

東京高等師範学校

朝

責任

広島高等師範学校

正義

忘れ得ぬ書籍（又は文章）

東京女子高等師範学校

思い出の事ども

幼時の思ひ出

奈良女子高等師範学校

我が書齋

学問の目的

神宮皇学館本科

読書

現代青年の使命より見たる外国語学習

大東文化学院

我が学びたき人

受験準備中の余と其の周囲

東京外国語学校

団体生活

吾人の覚悟

大阪外国語学校

樂しかりし日

今回の支那事件に対する所感

満洲医科大学

自然の恩

自警

千葉医科大学予科

友情

大阪歯科医学専門学校

大阪歯科医学専門学校

学問

大阪歯科医学専門学校

学問

自警

大阪歯科医学専門学校

学問

自警

大阪歯科医学専門学校

学問

自警

大阪歯科医学専門学校

学問

自警

大阪歯科医学専門学校

学問

「進」の一字を以て適宜に一語句を作りそれを題として一文を作れ

幸福

母校の思出

我が志望

ラジオ

言葉

祖先

感興深き君の一知人を選びその人に就きて記せ

スポーツ

社会と自分

満洲国

早春

今日の世相を観察す

我が郷土

我が求むるもの

我が中学生活

奉公の精神

進取の気象

次の和歌を鑑賞して感想文を作れ

春の雨障子のをちに河暮れて 灯に見る君となりにけるかな

春の日は■

土

最近の消息を先輩に報ずる文

情誼

実力を以て勝て

時局に直面して

弘前高等学校

新潟高等学校(文科)

新潟高等学校(理科)

松江高等学校(文科)

松江高等学校(理科)

広島高等学校

東京高等学校

富山高等学校

浪速高等学校

同農学部実科

九州大学(工)

京城帝国大学予科

慶応義塾大学予科(文・経・法)

慶応義塾大学高等部

早稲田第一高等学院

早稲田第二高等学院

東京商科大学予科

同商業教員養成所

春の雨障子のをちに河暮れて 灯に見る君となりにけるかな

広島文理科大学(第1次)

広島文理科大学(第2次)

台湾帝国大学附属農林専門部

名古屋高等商業学校(商業出)

名古屋高等商業学校(中学出)

山口高等商業学校

小樽高等商業学校

在満の我が軍隊に対する感謝の文

故郷

国家と青年

私の文章

我が趣味

青年の覚悟

家庭

日満博覧会へ出品を勧むる文

礼節

自力更生

美術の社会的使命を論ず

更正

吾人の覚悟

土

早春

私の親友

現代に処する吾等の覚悟

山と海

海国日本

非常時と国民の一致団結

青年と克己心

吾が郷土のほこり

人

健康

新聞

生活

愛郷心

松山高等商業学校

福島高等商業学校

彦根高等商業学校

高岡高等商業学校

大分高等商業学校

台北高等商業学校(商業出)

台北高等商業学校(中学出)

大倉高等商業

旅順工科大学予科

神戸高等工業学校

横浜高等工業学校(建築)

京城高等工業学校

台南高等工業学校

台北帝国大学農科大学実科、同専門部

東京帝国大学農学部実科

水原高等農林学校

京都高等蚕糸学校

東京高等商船学校(春)

東京高等商船学校(秋)

神戸高等商船学校(春)

神戸高等商船学校(秋)

水産講習所

陸軍士官学校予科

海軍兵学校

海軍機関学校

海軍経理学校

東京高等師範学校

今秋の思ひ出

言葉

朝日

試験場より

我が求むるもの

我が日学生活

現代青年の見たる東洋の将来

学生の本文

聯盟脱退後に於ける我國民の覚悟如何

我が郷土

幸福

鏡

希望

三問中一問ニ答フベシ

ツ論、(三) インフレーションに就て

何レカ一題ヲ選ブベシ (一) 物質文明とその功罪を論ず、(二)

極東に於ける帝國の地位を論ず、(三) 現実と理想

工業技術家ノ任務 日本大学第一予科(文科)

私の選択せる志望学科(附記・各自の選択せる土木、建築、機

械、電気の内の第一志望の学科に就て作文のこと) 日本大学第一予科(理科)

械、電気の内の第一志望の学科に就て作文のこと) 日本大学第一予科(文科)

械、電気の内の第一志望の学科に就て作文のこと) 日本大学第一予科(理科)

国旗の向ふ所

新聞の力

常時非常時

昭和青年の任務(1)

送別人赴滿洲序(2)

広島高等師範学校(文科・理科)

広島高等師範学校(教育科)

東京女子高等師範学校

奈良女子高等師範学校

早稲田大学第一高等学院(文科)

早稲田大学第二高等学院

早稲田大学専門部(政治経済)

早稲田大学専門部(法)

早稲田大学専門部(商)

慶応義塾大学専門部(医)

明治大学予科第一種

明治大学予科第二種

法政大学予科第一部

法政大学予科第二部

法政大学予科第三部

法政大学予科第四部

法政大学予科第五部

法政大学予科第六部

法政大学予科第七部

法政大学予科第八部

法政大学予科第九部

法政大学予科第十部

中央大学第一予科(第一学年)

中央大学予科(第二学年)

中央大学第二予科

大東文化学院

大東文化学院

大和民族の世界的使命

強い感動を受けた経験に就いて述べよ

私の自慢話

光

博愛

九州齒科医学専門学校二入学ヲ志望スルニ至リタル事由ヲ記述

セヨ

伝統

我が友

我が家族

我が郷土

国難に直面して吾人の覚悟を述べよ

我が交友

こゝろ(心)

家庭

国民性

理想と現実

理想と現実

同情の心

東亜の地図を觀て感あり

東亜同文書院(府県費採用試験問題・奈良県)

東亜同文書院(府県費採用試験問題・山口県)

昭和九年

念願

受験生活に就いて

此の頃の感想

うれしかつた事

東京外国語学校

大阪外国語学校

京城医学専門学校

昭和医学専門学校

東京医学専門学校

九州齒科医学専門学校

東京女子大学

津田英学塾(旧女子英学塾)

東京美術学校(图案師範科)

東京美術学校(日本画・油画・彫刻)

明治専門学校

福岡県女子専門学校

京都府立女子専門学校

第六教員養成所

通信官吏練習所

日露協会学校

哈爾濱学院

哈爾濱学院

哈爾濱学院

哈爾濱学院

哈爾濱学院

哈爾濱学院

第一高等学校

第二高等学校

第四高等学校

第五高等学校

先輩にその在学中の学校の様子を尋ぬる文

古城

第六高等学校  
第七高等学校造士館

日本精神

第八高等学校

反省

松本高等学校

非常時

松江高等学校(文科)

旅

松江高等学校(理科)

野外演習

松山高等学校

大楠公を偲ぶ

山口高等学校

国史を讀みて

水戸高等学校

非常時の覚悟

佐賀高等学校(文科)

科学の力

佐賀高等学校(理科)

三千年の国史を顧みて

大阪高等学校

時

福岡高等学校

偉人

静岡高等学校

「光」を以て適宜に一語又は一句を作りそれを題として書け

人の真価

弘前高等学校

皇国の将来と吾人の覚悟

新潟高等学校(文科)

五月雨

新潟高等学校(理科)

明治時代

広島高等学校

我等は生活を如何に充実せしむべきか

東京高等学校

我が過去を顧みて

富山高等学校

反省

台北高等学校

朝

専門学校入学予備検定(男)

「学而不思則罔。思而不学則殆。」の語につきて所感を述べ

専門学校入学予備検定(女)

反省

東京帝国大学(法)

反省

北海道帝国大学予科、同農学部実科

吾が志望

勤勞の精神

至誠

九州帝国大学(工)  
東京商科大学予科

入管後父に宛つる第一信

東京商科大学専門部、同商業教員養成所

日本精神

名古屋高等商業学校(商業出)

学問と職業

名古屋高等商業学校(中学出)

社会生活と秩序

山口高等商業学校

我が癖

小樽高等商業学校

日本精神の真髓

長崎高等商業学校

我等の進むべき道

大分高等商業学校

私の癖

福島高等商業学校

国家と青年

高岡高等商業学校

我が理想

彦根高等商業学校

夢

台北高等商業学校(中学出)

努力

台北高等商業学校(商業出)

予が志望

大倉高等商業学校

誠

旅順工科大学予科

非常時とは何ぞや

神戸高等工業学校

建築学科志望の動機と之に処する将来の責務を問ふ

横浜高等工業学校(建築)

土

京城高等工業学校

満洲に行く友を送る

台南高等工業学校

汗

東京帝国大学農学部実科

卒業生を送る

東京農業大学予科、同専門部

充実せる学生生活

鹿兒島高等農林学校

父の愛

水原高等農林学校

我等の国家

京都高等蚕糸学校



故郷

海軍日本

日の御子は生れせり

聖賢の教に親しめ

軍縮会議を前にして海員としての抱負を述べ

神戸高等商船学校(春季1)

神戸高等商船学校(春季2)

神戸高等商船学校(秋季1)

神戸高等商船学校(秋季2)

水産講習所

陸軍士官学校予科

海軍兵学校

海軍経理学校

海軍機関学校

東京高等師範学校

東京高等師範学校(文科・理科)

広島高等師範学校(教科)

広島高等師範学校(教育科)

東京女子高等師範学校

奈良女子高等師範学校

早稲田第一高等学院

早稲田第二高等学院

早稲田大学高等師範部

早稲田大学専門部(政治経済)

早稲田大学専門部(法)

早稲田大学専門部(商)

早稲田大学予科(文・経・法)

慶応義塾大学(医)

慶応義塾大学(文)

慶応義塾大学高等部

千葉高等園芸学校

東京高等商船学校(春季)

東京高等商船学校(秋季)

神戸高等商船学校(春季1)

神戸高等商船学校(春季2)

神戸高等商船学校(秋季1)

神戸高等商船学校(秋季2)

水産講習所

陸軍士官学校予科

海軍兵学校

海軍経理学校

海軍機関学校

東京高等師範学校

東京高等師範学校(文科・理科)

広島高等師範学校(教科)

広島高等師範学校(教育科)

東京女子高等師範学校

奈良女子高等師範学校

早稲田第一高等学院

早稲田第二高等学院

早稲田大学高等師範部

早稲田大学専門部(政治経済)

早稲田大学専門部(法)

早稲田大学専門部(商)

早稲田大学予科(文・経・法)

慶応義塾大学(医)

慶応義塾大学(文)

慶応義塾大学高等部

友情について

左ノ四題中一題ヲ選択スベシ (一) 開業を披露する文(候文体)、(二) 或る日の日記(口語体)、(三) 余の理想(論文体)

(四) 僕の友人(口語体)

左ノ中一題ヲ選ベシ (一) 我が非常時に対する青年の覚悟、

(二) 我が崇拜せる人物

工業志望の動機

一題ヲ選ベシ (一) 東洋に於ける我国の責任、(二) 現代

日本の社会思想を論ず、(三) 機械文明を論ず

日本大学第二予科

私ノ家庭ト工業

私ノ愛スル花

春と人生

日本精神

学生の本分

読者

送友人遊満洲序

誠

自己を語る

三種ノ神器ト我国体トノ関係ヲ記述セヨ

やまと心

父(又は母兄弟姉妹、旧師我が家我が母校)と私

不滅なるもの

反省

学窓より社会を見て

九州歯科医学専門学校

満洲医科大学予科

京城医学専門学校

昭和医学専門学校

東京医学専門学校

熊本薬学専門学校

明治大学予科(第一種)

日本大学第一予科(文科)

日本大学第一予科(理科)

日本大学第二予科

日本大学専門部工科

中央大学第一予科(第一学年)

中央大学第一予科(第二学年)

中央大学第二予科

同志社大学予科

大東文化学院(1)

大東文化学院(2)

東京外国語学校

大阪外国語学校

大東文化学院(2)

東京外国語学校

大阪外国語学校

大東文化学院(2)

東京外国語学校

大阪外国語学校

九州歯科医学専門学校

満洲医科大学予科

京城医学専門学校

昭和医学専門学校

東京医学専門学校

熊本薬学専門学校

九州歯科医学専門学校

満洲医科大学予科

京城医学専門学校

昭和医学専門学校

東京医学専門学校

満洲国に移住したる友人に送る文 東京高等蚕糸学校養蚕実科  
我等の国家 京都高等蚕糸学校

反省 北海道帝国大学農学部実科

吾が家 帝国女子薬学専門学校

我が愛読書 東京美術学校(図画師範科)

我が少年時代 東京美術学校(日本画・油画・彫刻)

理想 東京女子大学

己れをかへりみて 津田英学塾

非常時 哈爾賓学院

わが恩師 神宮皇学館本科

献身 通信官吏練習所

我方生ヒ立ちト環境並ニ将来ニ対スル希望 測候技術官養成所

昭和十年

忘れ得ぬ事 第一高等学校

郷土愛 第二高等学校

幸福 第四高等学校

友 第五高等学校

私の生ひ立ち 第六高等学校

光 第七高等学校造士館

人の和 第八高等学校

創造と模倣 松本高等学校

三月 松江高等学校

都市と農村 松山高等学校

至誠 山口高等学校

過去一年を顧みて 水戸高等学校

現代日本の要求する人物 佐賀高等学校

我が最も印象深かりしこと 大阪高等学校

確信の力 高知高等学校

我が国民性 福岡高等学校

歴史を讀みて感あり 弘前高等学校

孝は百行の本 浦和高等学校

努力 新潟高等学校

謝恩 広島高等学校

武士道 東京高等学校

昭和の日本 浪速高等学校(文科)

艱難汝を玉にす 浪速高等学校(理科)

如何にして我が生活に潤ひあらしむべきか 富山高等学校

心より嬉しく思ひし事 台北高等学校

断続は力である 専門学校入学予備検定(男子)

女子の誇り 専門学校入学予備検定(女子)

まだ誰にもいはぬ話 早稲田第一高等学校

隣人 早稲田第二高等学校

我が心境 早稲田大学高等師範部

日本国民と太平洋の将来 早稲田大学専門部(政治経済)

余ノ最モ感ジタル事 早稲田大学専門部(法)

将来の希望 早稲田大学専門部(商)

質実の気風 東京商科大学予科

非常時に処する吾人の覚悟 東京商科大学専門部、同商業教員養成所

科学と人生 慶応義塾大学予科(文・経・法)

非常時日本を憶ふ 慶応義塾大学高等部

国旗 名古屋高等学校(商業出)

満洲国に商況を問合す文 名古屋高等学校(中学出)

自信

我が家

競争

団体生活

我が希望

親友論

青年の志望

反省

現代所感

愛国

非常時日本と産業青年の覚悟

希望

建築を志望せる理由

この試験場より恩師に送る文

非常時

自治心

春分

協力

希望

自動車

新聞

非常時日本の青年の覚悟

我が国体の尊厳なる所以

我が家

日章旗を仰ぎて

私は海の子

日常生活の充実に努力せよ

山口高等商業学校

小樽高等商業学校

福島高等商業学校

高松高等商業学校

横浜商業専門学校(1)

横浜商業専門学校(2)

京城高等商業学校

台北高等商業学校(商業出)

台北高等商業学校(中学出)

関西学院高等商業学校

大倉高等商業学校

旅順工科大学予科

横浜高等工業学校(建築)

高等工業学校(機械)

京城高等工業学校

高等工業学校

東京高等農林学校(旧東京帝国大学農学部実科)

鹿児島高等農林学校

三重高等農林学校

水原高等農林学校

東京高等蚕糸学校

東京高等蚕糸学校養蚕実科

千葉高等園芸学校

京都高等養蚕学校養蚕実科

東京高等商船学校(春季)

東京高等商船学校(秋季)

神戸高等商船学校

自己の抱負を父母に報ずる文

二千五百九十五年の思出

我が家ト我が生立チトヲ記シ、現在ノ境遇並ニ希望ト覚悟トヲ述ベヨ

光明

東郷元帥を憶ふ

東郷元帥を憶ふ

戦争

道

晚秋

日本精神

海

大空

ことば

右の内一題選択のこと

右の内一題選択のこと

右の内一題選択のこと

象

希望

光陰

故郷

右三問中の一問に答ふべし

商品注文を申込む文

(一)最も深き印象を受けたる歴史上の人物、(二)日本精神を論ず、(三)世界の現情と我国の地位

選んで作文を作れ。文は十分に考へて字句を練りあまり書直をさめやうにせよ。議論はなるべく史実に徴しかつ自己の道徳的

水産講習所

通信官吏練習所

測候技術官養成所

陸軍士官学校予科

海軍兵学校

海軍経理学校

海軍機関学校

東京高等師範学校

広島高等師範学校(文科・理科)

広島高等師範学校(教育科)

東京女子高等師範学校

東京女子高等師範学校(専科)

奈良女子高等師範学校

明治大学予科(第一種)

明治大学予科(第二種)

明治大学予科(第三種)

明治大学専門部商科

明治大学専門部法科

明治大学政治経済科

明治大学専門部史学科

明治大学専門部史学科

明治大学専門部史学科

明治大学専門部史学科

明治大学専門部史学科

明治大学専門部史学科

明治大学専門部史学科

明治大学専門部史学科

判断を表明するに力めよ。漢字は楷書体仮名交のこと。口語にてもよし。文には句読を附すべし。

次 of 事柄を内容とする文章を作れ (一) 自己の思想と将来の覚悟、(二) 父 (又は保護者) の職業と家庭、(三) 志望学科を選擇せる理由

日本大学第一予科 (理科)、専門部工科

花と人

中央大学第一予科 (第一学年)

力

中央大学第一予科 (第二学年)

教育

中央大学第二予科

本学院入学の動機

大東文化学院

旧師を憶ふ

東京外国語学校

学生生活

大阪外国語学校

出身校を願ふ

満洲医科大学予科

これは詩 (歌・絵) になると思つた事

京城医学専門学校

生命

昭和医学専門学校

海

東京医学専門学校

歯科医師たらんとする吾人の覚悟

東京高等歯科医学専門学校

建国祭の意義

日本歯科医学専門学校

歯科医師たらんとする吾人の覚悟

東京歯科医学専門学校

非常時と青年

九州歯科医学専門学校

笑

哈爾賓学院

信

東京女子大学

或る日の旅

津田英学塾

わが愛読書

東京美術学校 (工芸)

友を語る

東京美術学校 (日本画)

交友

京城法学専門学校

桜

神宮皇学館本科

昭和十一年

昨日の日記

反省

青春

吾が友

癖

旧師を憶ふ

伝統

雪降りたる或日の記

進取の気象

希望

窓

我が崇拜する人物

男らしき男

己れ自身を知れ

余が学習の目的

停車場

思ひ出

信念

奉公

我が前途に対する希望

忘れ得ぬ人

国史に於ける宗教上の偉人を論ず

家庭

我が国力発展の跡を顧みて

第一高等学校

第二高等学校

第三高等学校

第四高等学校

第五高等学校

第六高等学校

第七高等学校造土館

第八高等学校

松本高等学校

松江高等学校

松山高等学校

山口高等学校

佐賀高等学校 (文科)

佐賀高等学校 (理科)

山形高等学校

大阪高等学校

福岡高等学校

静岡高等学校

弘前高等学校

浦和高等学校

新潟高等学校

広島高等学校

高知高等学校

東京高等学校

私の高校入学を志望せる理由

思想と言葉

自然と美

自然の恩恵

我が家を語る

顔

何が宝か、何が此の世に於て最も尊いものであるかを考へて書いて御覧なさい。国の宝でも家の宝でも、個人の宝でもよい、有形の宝でも無形の宝でもよい

吾が郷土

学生とスポーツ

自由と放縦との弁

左の三つの単語を結びて、一つの文を作ること（品位ある文章なることを要す）電。天の香具山。鉄。

スポーツの利弊について論ず

華を去り実につけ

学問と健康

雪の悩み

家庭

日本精神を論ず

乃木將軍ヲ憶フ

希望

右ノ中一題ヲ選ビ答ヘヨ

人生と金銭、(四) 信頼

(一) 非常時と青年、(二) 国体明徴の意義 上記二題のうち

富山高等学校

浪速高等学校(文科)

浪速高等学校(理科)

台北高等学校

早稲田第一高等学院

早稲田第二高等学院

早稲田大学高等師範部

早稲田大学専門部(政治経済)

早稲田大学専門部(法)

早稲田大学専門部(商)

国学院大学予科

慶応義塾大学予科(医)

慶応義塾大学予科(文・経・法)

慶応義塾大学高等部

明治大学予科(第一種)

明治大学予科(第二種)

明治大学専門部商科

明治大学専門部法科

明治大学専門部政治経済科

戦争と平和、(三)

米、(二) 法政大学高等商業部

法政大学高等商業部

一を選んで作文を作れ。文は十分に考へて字句を練りあまり書直さぬやうにせよ。議論はなるべく史実に徴しかつ自己の道德的判断を表明するに力めよ。漢字は楷書平仮名交のこと。口語にても文語にへもよし。文には句読を附すべし。

私の家庭と工業

父の日常生活と我が家(父ナキ者ハ保護者ヲ主題トセヨ)

学校生活

健康とスポーツ

読書

努力

友情

現代青年の覚悟

昭和十一年を迎へて

知己

日本精神

勤勞

日満両国の経済關係に就いて

我が家

我等の希望

我が感激の思出

団体生活

恩師に今後の方針を報ずる文

力

技術家を志願して

我が幼時

日本大学第一予科(文科)、第二予科

日本大学第一予科(理科)

日本大学専門部工科

名古屋高等商業学校

山口高等商業学校

小樽高等商業学校

福島高等商業学校

高岡高等商業学校

横浜商業専門学校(1)

横浜商業専門学校(2)

京城高等商業学校

台北高等商業学校

関西学院高等商業学校

大倉高等商業学校

旅順工科大学予科

東京商科大学予科

同商業教員養成所

神戸高等工業学校

横浜高等工業学校

京城高等工業学校

台南高等工業学校

台北帝国大学農科大学実科、同専門部

上に親しめ  
 青年の意気  
 遠足  
 我国農村の現状に対する我等の覚悟  
 船舶  
 我は海の子  
 個人と国家  
 自ら工夫する習慣を養へ  
 理想の人物  
 海洋日本  
 信義  
 満洲事変  
 至誠  
 太平洋  
 海軍  
 帝国の使命と吾人の覚悟  
 青年の前途  
 恩  
 曙  
 追憶  
 生命  
 現代人  
 大なるかな亜細亞洲  
 受験所感  
 ある日曜日  
 自分ノ最モ樂シカリシコト  
 郷土愛

鹿児島高等農林学校  
 三重高等農林学校  
 水原高等農林学校  
 千葉高等園芸学校  
 東京高等商船学校(春)  
 東京高等商船学校(秋)  
 神戸高等商船学校(春)  
 神戸高等商船学校(秋)  
 水産講習所  
 函館高等水産学校  
 陸軍士官学校予科(1)  
 陸軍士官学校予科(2)  
 陸軍経理学校  
 海軍兵学校  
 海軍機関学校  
 海軍経理学校  
 東京高等師範学校  
 広島高等師範学校  
 東京女子高等師範学校  
 奈良女子高等師範学校  
 東京外国語学校  
 大阪外国語学校  
 満洲医科大学予科  
 昭和医学専門学校  
 東京高等蚕糸学校  
 蚕糸学校養蚕実科  
 京都高等蚕糸学校

我が修養法を語る  
 田舎と都会  
 選挙粛清と婦人  
 紀元節の意義  
 歯科医師たらんとする吾人の覚悟  
 わが出生  
 父(又は祖父母、兄弟、知人等)の二つ話  
 受験所感  
 偶感  
 日本精神  
 わが恩師  
 雲  
 友を語る／母を語る 二つの中の一を選ぶ  
 日本は何処へ往く／学生生活の理想 二つの中から一を選ぶ  
 旅  
 昭和十二年  
 或る朝  
 恩  
 塵埃  
 郷土  
 忠孝一本  
 雲  
 我が郷土  
 我が母校を語る  
 東京高等蚕糸学校養蚕実科  
 国学院大学高等師範部  
 東京女子医学専門学校  
 日本歯科医学専門学校  
 東京歯科医学専門学校  
 九州歯科医学専門学校  
 京城医学専門学校  
 昭和医学専門学校  
 京城法学専門学校  
 大東化学学院  
 東京工芸学校(図画師範)  
 東京工芸学校(日本画科)  
 哈爾賓学院(1)  
 哈爾賓学院(2)  
 神宮皇学館本科  
 第一高等学校  
 第二高等学校  
 第三高等学校  
 第五高等学校  
 第六高等学校  
 第七高等学校造土館  
 第八高等学校  
 山口高等学校  
 新潟高等学校

共同一致の精神

我が趣味

忘れ得ぬ人

感激

努力

希望

勝敗

大自然の力

各自の母校につきて説明文を作れ

昭和十一年を顧みて

家

心

世界地図を眺めて

恩

海と陸

私を育てくれた環境

受験場より恩師へ

理科志望について我が理想を述べ

台北高等学校校志願に關して有益なる指導を与へられたる先輩に

送る文

社会奉仕

感化

太平洋

家

心

吾が心境

新日本の建設と青年の覚悟

松本高等学校

松山高等学校

水戸高等学校

山形高等学校

佐賀高等学校(文科)

佐賀高等学校(理科)

弘前高等学校

松江高等学校

浦和高等学校

大阪高等学校

福岡高等学校

高知高等学校

広島高等学校

姫路高等学校

東京高等学校

富山高等学校

浪速高等学校(文科)

浪速高等学校(理科)

台北高等学校

小樽高等学校

名古屋高等学校

山口高等学校

京城高等学校

福島高等学校

台北高等学校

関西学院高等学校

自己の長所と短所

森

都市

我が希望

学生生活の意識

自由と統制

制海權

現代青年と感謝報恩の念

最後の戦勝と国民の持久力

我が趣味

土

苦難に処する道

我等の誇

協同の精神

健康

中等学校生活の回顧

知己

建国祭

春の野

勤勞

勤勞

明治維新に就きて所見を述べよ

南米の伯父に母国の近況を報ずる文

土

古典と人生

職業は忠実なるを要す

青年学生の任務

東京高等師範学校

広島高等師範学校(文科・理科)

横浜商業専門学校(春季)

横浜商業専門学校(秋季)

東京高等商船学校(春季)

東京高等商船学校(秋季)

神戸高等商船学校(春季)

神戸高等商船学校(秋季)

奈良女子高等師範学校

国学院大学高等師範部

東京商科大学予科

旅順工科大学予科

米沢高等工業学校

京城高等工業学校

台南高等工業学校

鹿兒島高等農林学校

帝国工学農科大学実科、同専門部

三重高等農林学校

岐阜高等農林学校(1)

岐阜高等農林学校(2)

水原高等農林学校

国学院大学予科

慶応義塾大学予科(医)

慶応義塾大学予科(文・経・法)

世界の日本

敬虔

風

忘れ得ぬ人々

或る朝の印象

彼の一日

故郷

青年

右三題ノ中一題ヲ選択スベシ

友人の入学を祝する文

(一) 我が国体の世界無比なる所以を論ず、(二) 学生生活と現代社会、(三) 平和 上記三題のうち一を択んで作文を作れ。

家庭の現在と私の将来

父の社会生活と私の家庭

我が家庭と私の使命

父の日常と私の責任

体育と精神修養

国防

我が念願

吾等の天地

吾等の天地

日章旗

思ひ出

日本精神

公德

大空

慶応義塾大学高等部

早稲田第一高等学院

早稲田第二高等学院

早稲田大学専門部(法)

明治大学予科(第一種)

明治大学予科(第二種)

明治大学専門部法科

明治大学専門部政治経済科

法政大学高等商業部

日本大学第一予科(文科)

日本大学第一予科(理科・本校会場)

日本大学第一予科(理科・大阪会場)

日本大学専門部工科(本校会場)

日本大学専門部工科(大阪会場)

陸軍士官学校予科(1)

陸軍士官学校予科(2)

陸軍経理学校

海軍兵学校

海軍経理学校

海軍機関学校

水産講習所

大東文化学院

京城法学専門学校

東京外国語学校

我が好める格言につきて

自然の恩恵

母

健康

朝日

我が母校の印象

郷土の風俗

故郷

故郷の恩師に近況を報ずる文

吾が進む道

職業

食卓を囲んで

美術と国民性

国歌

忘れ得ぬ人

今年のお正月

山

我が父母を語る

自己ノ生立チ、家庭ノ事情、現在ノ境遇並ニ氣象測候事業ニ対スル希望ト覚悟トヲ有リノ儘ニ記述スベシ

吾が愛する山川を語る

吾が愛する山川を語る

哈爾賓学院を志願するに就いて志を述べ

哈爾賓学院(1)

哈爾賓学院(2)

昭和十三年

感謝

銃後

大阪外国語学校

千葉高等園芸学校

東京高等蚕糸学校

京都高等蚕糸学校

満洲医科大学予科

東京歯科医学専門学校

東京女子医学専門学校

九州齒科医学専門学校

東京医学専門学校

京城医学専門学校

昭和医学専門学校

東京美術学校(国師範科)

東京美術学校(日本画)

東京女子大学

津田英学塾

日本女子大学英文学部

神宮皇学館本科

建国大学

中央氣象台測候技術官養成所

哈爾賓学院(1)

哈爾賓学院(2)

第一高等学校

第二高等学校



柱

黎明

友に与へて郷土の偉人を語る

銅像

自己を語る

寒稽古

時局と青年の覚悟

堅忍持久の精神

大和魂

我が国民の誇

戦争

家

征空

水

「御民吾れ生けるしるしあり天地の栄ゆる時に逢へらく思へば」  
(万葉集) 右ノ歌ニツイテ感想文ヲ作レ

「国のためあなす仇はくたくともいつくしむへきことな忘れ  
そ」 右ノ御製ヲ拝読シテ得タル感想ニ基ツキ即意ニ題ヲ定メ  
テ文ヲ作レ

銃後の覚悟  
神社

過去一年を顧みて

少年時代の思出

鍛錬

時局と学生

責任感

日本刀

第三高等学校

第五高等学校

第六高等学校

第七高等学校造士館

第八高等学校

山口高等学校

富山高等学校

松本高等学校

松山高等学校

松江高等学校

佐賀高等学校

弘前高等学校(文科)

福岡高等学校

高知高等学校

広島高等学校

東京高等学校

府立高等学校

浪速高等学校(理科)

浪速高等学校(文科)

台北高等学校

慶応義塾大学予科(医)

慶応義塾大学予科(文・経・法)

慶応義塾大学高等部  
京城帝国大学予科

昨夏の一日

聴く

野外戦闘教練の体験

我が国民の理想

時局に直面して

或る感想

緊張

文学としての価値豊かなる和歌二首につき其の愛好する理由を  
述ぶること/時局に対する吾等の覚悟、英雄論、郷土の誇り、  
以上の一を選んで作る(文科)

健康

忠

時局に対する吾等の覚悟、英雄論、郷土の誇り、以上の一を選  
んで作る

家庭の現在と自己の責任

我が国

父母

銃後の吾等

我が家

堅忍持久

希望

国運

日本精神

責任感

臣節を論ず

父母の教訓

日本精神

東京商科大学予科

東京商科大学商学専門部

満洲医科大学予科

旅順工科大学予科

台北帝国工学農科大学実科、同専門部

早稲田第一高等学校

早稲田第二高等学校

国学院大学予科

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

同志社大学予科(二部)

国民精神総動員

我が家

陽

ラヂオ

我が誇(我が父(母・兄弟・姉妹・家族・国等)の誇でもよい)

時局に対する女性の覚悟

非常時局に処する吾人の覚悟

私の崇拜する人

心

時局に直面して

国家の恩恵

必勝の信念

真の愛国者

出征地より家郷の母に送る文

外来文化と日本精神

本校受験の模様を恩師に報ずる文

元旦

皇国

青年の進路

銃後の学生

空

我が国体ノ精華

我が帝国の前途と我等の覚悟

神風

神風

海軍機関学校志願ヲ旧師ニ報ズ

海軍機関学校

横浜商業専門学校

米沢高等工業学校

京城高等工業学校

台南高等工業学校

京城医学専門学校

東京女子医学専門学校

東京歯科医学専門学校

九州歯科医学専門学校

昭和医学専門学校

鹿児島高等農林学校

三重高等農林学校

岐阜高等農林学校(1)

岐阜高等農林学校(2)

宮崎高等農林学校

水原高等農林学校

東京高等蚕糸学校

京都高等蚕糸学校

千葉高等園芸学校

水産講習所

陸軍士官学校予科(1)

陸軍士官学校予科(2)

陸軍経理学校

海軍兵学校

海軍経理学校

海軍機関学校

海軍機関学校

海軍機関学校

銃後

制海権

勝つて兜の緒を締めよ

現代青年の覚悟

自己ノ生立ち、家庭ノ事情、現在ノ境遇並ニ氣象測候事業ニ対スル希望ト覚悟ト有リノ儘ニ記述スベシ

時局に対する青年の覚悟

我が尊敬する人物

古典

我等の覚悟

奉公の道

国語の愛護

我が母

吾が母校

暁

出征軍人をねぎらふ文

旅

反省

銃後にあつて

応召兵

昭和十二年の回顧

日本語について

外遊中の友人に近情を報ずる手紙

筆の力

春近し

女学校時代の思ひ出

女学校時代の思ひ出

女学校時代の思ひ出

東京高等商船学校(春季)

東京高等商船学校(秋季)

神戸高等商船学校(春季)

甲種飛行予科

中央氣象台測候技術官養成所

無線電信講習所(本科)

無線電信講習所(予科)

文部省図書館講習所

東京高等師範学校

広島高等師範学校(文科)

広島高等師範学校(教育)

東京女子高等師範学校

東京女子高等師範学校(体育科)

奈良女子高等師範学校

東京外国語学校

大阪外国語学校

帝国女子薬学専門学校

東京女子大学

日本女子大学英文学部

哈爾賓学院

神宮皇学館本科

東京美術学校(図画師範科)

東京美術学校(日本画)

東京美術学校(油画・彫刻)

女子英学塾

女子英学塾

女子英学塾

文題、文体随意 但シ内容ハ本学々生トシテ時局下ニ処スル覚悟如何ニツキテ述ブベシ  
国学院大学高等師範部  
大東化学学院  
志を述べ

道「学ぶは道のためにして衣食のためにあらずといふ、その道とは何であるか。道は須臾も離るべからずといふ、その道とは何であるか。道一以てこれを貫くといふ、その道とは何であるか。朝に道を聞いて夕べに死すとも可なりといふ、その道とは何であるか。よく考へて書いて御覧なさい。」

青年の自覚  
早稲田大学高等師範部  
明治大学予科(第一種)  
三題のうち一を選んで作る (一) 時局に対する吾等の覚悟、  
(二) 英雄論、(三) 郷土の誇り

家庭の現在と自己の責任  
日本大学第一大学予科、第二大学予科  
日本大学予科(理科)  
工業化学科を志望する家庭的理由  
日本大学予科(理科・工業化学科)  
日本大学専門部工科

工業ヲ志望スル家庭的理由  
日本大学専門部工科  
工業化学科志望ノ理由  
日本大学専門部工科(工業化学科)  
黎明  
通信官吏練習所

### 昭和十四年

日本人  
第一高等学校  
勤勞  
第三高等学校  
我が父  
第五高等学校  
我が国民性について  
第六高等学校  
大陸  
第七高等学校造士館  
日本の前途  
第八高等学校

ラジオ体操  
集團勤勞作業の体験を語る  
山口高等学校(文科)  
山口高等学校(理科)

近況を戦地に報ず  
空を仰ぎて  
松山高等学校  
東亜新秩序の建設  
佐賀高等学校  
正義の力  
松本高等学校

朝日  
建設  
弘前高等学校  
福岡高等学校  
道  
高知高等学校  
勤勞奉仕の体験  
東京高等学校

感激  
我が郷土の県(府道州) 民性を語る  
大阪高等学校  
富山高等学校  
浪速高等学校  
府立高等学校  
台北高等学校

土  
自己の理想  
好きなもの嫌ひなもの  
楯の両面  
広島文理科大学(文科)  
広島文理科大学(教育)

十人十  
家業を語る  
東京商科大学予科  
我が母  
旅順工科大学予科  
東京商科大学専門部

我が国文化の特色  
家庭より試験場まで  
満洲医科大学予科  
私拝する人物  
東京高等商船学校(春季)

「青年と読書」 右ノ課題ニヨリ学生生活ニ於ケル読書ノ意義  
ニツイテ論ゼヨ  
東京高等商船学校(秋季)  
神戸高等商船学校(春季)

我が感激した話  
物資の消費を節約せよ  
神戸高等商船学校(秋季)  
勤勞の精神  
東京高等師範学校

楯の両面

讀書

家

国旗

長期建設

新聞紙

吾人の進むべき道

勤勞と学生

勤勞の精神

時局と技術者

奮闘

滅私奉公

昨年を顧みて

勤勞

仁義

旗

新東亜建設を擔ふ婦人の覚悟

現下時局に処する青年の覚悟

大陸

我が皇室と国民

犠牲的精神

青年

青年

青年

鍛鍊

誇り

青年

広島高等師範学校

東京女子高等師範学校

奈良女子高等師範学校

山口高等商業学校

福島高等商業学校

名古屋高等商業学校

台北高等商業学校

小樽高等商業学校

京城高等工業学校

台南高等工業学校

鹿児島高等農林学校

三重高等農林学校

東京高等蚕糸学校

京都高等蚕糸学校

東京医学専門学校

昭和医学専門学校

東京女子医学専門学校

東京齒科医学専門学校

陸軍士官学校予科(1)

陸軍士官学校予科(2)

陸軍經理学校

海軍兵学校

海軍經理学校

海軍機関学校

早稲田第一高等学院

早稲田第二高等学院

慶応義塾大学予科(文・経・法)

国民精神

協同作業の体験を語る

過去一年を顧みて

戦争と女性

水

昭和十五年

季節

教室の一時間

冬の夜

挙国一致

言と行

戦地に在る恩師に近況を報ず

興亜の理想

精神力

精神力

精神力

今にして初めて思ひ当る事

力

大和国原を憶ふ

わが父又はわが母

水の印象

事変下に於ける国民生活

工業戦士の覚悟を述べよ

東亜に於ける日本の地位

東京外国語学校

大阪外国語学校

東京女子大学

日本女子大学英文学部

神宮皇学館本科

台北高等学校

浪速高等学校

東京商科大学予科

広島文理科大学(文科)

広島文理科大学(教育)

陸軍士官学校予科(1)

陸軍士官学校(2)

陸軍經理学校

海軍兵学校

海軍機関学校

海軍經理学校

早稲田第一高等学院

早稲田第二高等学院

早稲田第二高等学院

国学院大学予科

明治大学予科第一種

明治大学予科第二種

明治大学専門部商科

日本大学予科(工科)、専門部(工科)

法政大学大陸部

昭和十六年

旅の思ひ出

書籍

報恩感謝

見るもの聞くものすべて心の糧ならざるはなし

東京商科大学予科

明治節

環境

努力

我が志望を語る

任務

任務

任務

我が父母を語る

光

日本武尊をしのび奉る

土

昭和十七年

宣戦の大詔を拝し奉りて

宣戦の大詔を拝し奉りて

参考文獻(参照した問題集、参考書類のみ)

西田富衛『各官立学校 入学試験問題全 附官立学校要覧』(有斐閣、明二

十二・十一)

台北高等学校

浪速高等学校

専門学校

広島高等師範学校(文科)

広島高等師範学校(教育)

陸軍士官学校

陸軍経理学校

海軍兵学校

海軍機関学校

海軍経理学校

早稲田第一高等学院

早稲田第二高等学院

国学院大学予科

神宮皇学館本科

専門学校

三宅鼎『龍頭和文 高等作文新書』(発行・金川善兵衛、明二十六・十)

大木辰四郎編『学生必携作文自在』(大木辰四郎、明二十七・七)

堀江秀雄『学生必携作文資料』(博文館、明三十一・八)

財問栄『作文必携 熟語成句詳解』(大学館、明三十三・八)

渡貫勇『中学作文参考書』(桐原文盛堂、明三十四・三)

国分正憲『各官立学校入学試験 作文問題模擬答案集』(東京出版社、大

二・三)

五十嵐力『作文三十三講』(早稲田大学出版部、大二・十一)

友田宜剛『作文速成』(大日本雄弁会、大四・十一)

吉川秀雄『最近十二年間 諸官立学校入学試験 作文模範答案集』(精文館、

大五・二)

吉川秀雄『諸官立学校入学試験 作文模範答案集』(精文館、大五・二)

岡本金延『師範 中学 高女 作文力之基礎』(魁文堂、大六・五)

大町桂月『受験叢書第二編 作文教範』(法制時報社、大六・二)

内海弘藏『作文構成研究及答案模範文集 受験準備』(中興館書店、大八・

六)

国漢文研究会『受験的作文の考へ方』(三宅書店、大八・九)

吉川秀雄『類聚 模範受験作文』(有精堂、大九・四)

塚本哲三『作文の学び方考へ方と作り方』(考へ方研究社、大十一・五)

平田義雄『作文の原理』(文理書院、大十三・二)

東京教育研究社編『受験準備作文の話』(東盛堂、大十三・四)

吉川秀雄『類聚 模範受験作文』(有精堂、大十三・九)

三浦哲郎校閲/浅利豊治郎・横川四郎共著『作文の研究』(鉄道研究社、大

十三・十二)

塚本哲三『改訂 作文考へ方』(考へ方研究社、大十四・九)

吉田辰次『答案式作文粹』(慶文堂書店、大十五・十二)

吉澤義則『現代作文』(星野書店、大十五・十二)

平田義雄『作文の原理 高等専門学校程度受験』（文理書院、昭一・二）

相澤鶴藏『受験作文の要訣と其作法』（受験の指針社、昭五・九）

三兼大石『受験模範作文集』（芳文堂、昭五・九）

八波則吉『文話文例 少年模範文』（大日本雄弁会講談社、昭五・十二）

山根久米治『受験本位 作文模範答案作成法』（昇龍堂書店、昭七・九）

京都府立福知山中学校『作文要諦』（京都府立福知山中学校、昭七・十二）

亀井寅雄『短期完成 作文の総仕上げ』（三省堂、昭八・十二）

亀井寅雄『分り易く覚え易い 作文の研究（新制準拠）』（三省堂、昭九・一）

川島益太郎『文検国語科受験作文要訣』（大同館書店、昭九・三）

竹野長次『作文精講』（三省堂、昭九・五）

野村泰治『模範作文講話及文範』（大仲堂書店、昭九・七）

遠藤鑊『作文縦横』（甲文堂書店、昭九・十一）

八波則吉『高等模範作文』（英進社、昭十・二）

澤田総清『模範新作文』（光学館、昭十・三）

吉田辰次『作文講話と模範文』（三省堂、昭十・九）

志望校別受験叢書刊行会編『大阪高校・浪速高校 静岡高校・松本高校入試問題精解』（校風閣、昭十・七）

志望校別受験叢書刊行会編『工業医大薬専・金沢医大薬専・長崎医大薬専

東京薬専・明治薬専・大阪薬専・京都薬専・岐阜薬専・富山薬専・熊本

薬専・京城薬専入試試験問題精解』（校風閣、昭十・八）

志望校別受験叢書刊行会編『東京高歯・東京歯専・日本歯専・日大歯科・大阪

歯専・九州歯専・京城歯専入試試験問題精解』（校風閣、昭十・八）

志望校別受験叢書刊行会編『浦和高校・水戸高校 東京高校・府立高校入試

問題精解』（校風閣、昭十・八）

志望校別受験叢書刊行会編『広島高工・徳島高工・熊本高工 明治専門・南

満工専・台南高工入試試験問題精解』（校風閣、昭十・八）

志望校別受験叢書刊行会編『横浜高工・仙台高工・桐生高工 米沢高工・長

岡高工・秋田鉱専入試試験問題精解』（校風閣、昭十・八）

志望校別受験叢書刊行会編『北大予科・北大実専 函館高等水産 京城帝大

・旅順工大人試問題精解』（校風閣、昭十・八）

青年教育普及会編輯部編『文部省編纂 直轄学校入試試験問題答案講評（国

語・漢文・作文）』

木下一雄監修『受験学習中等新作文の作り方と味ひ方』（岡村書店、昭十一

・九）

澤田総清『最新 作文範例粹』（慶文堂書店、昭十・九）

今弘助選『受験生の合格作文 第2』（大明堂書店、昭十一・三）

志望校別受験叢書刊行会編『水産講習所東京高蚕・京都高蚕 上田蚕糸・千

葉高園入試問題精解』（校風閣、昭十一・七）

志望校別受験叢書刊行会編『東京高芸・京都高芸・東京美術・通信官練・測

候技養入試問題精解』（校風閣、昭十一・七）

志望校別受験叢書刊行会編『姫路高校・広島高校 松山高校・高知高校入試

問題精解』（校風閣、昭十一・七）

志望校別受験叢書刊行会編『大阪高校・浪速高校 静岡高校・松本高校入試

問題精解』（校風閣、昭十一・七）

藤野重次郎『作文問題と答案作成』（西東社出版部、昭十一・九）

吉田辰次『改訂 作文粹』（慶文堂書店、昭十一・十）

山根久米治『受験作文合格答案と着眼点』（昇龍堂書店、昭十一・十二）

今田哲夫『星軍受験作文』（子文書房、昭十二・九）

志望校別受験叢書刊行会編『第五高校・第六高校 第七高校・第八高校入試

問題精解』（校風閣、昭十二・七）

志望校別受験叢書刊行会編『東京高等師範学校・広島高等師範学校 入試問

題精解』（校風閣、昭十二・七）

志望校別受験叢書刊行会編『横浜高工・仙台高工 桐生高工・米沢高工 長

岡高工・秋田鉱専入試問題精解』（校風閣、昭十二・七）

志望校別受験叢書刊行会編『神戸高工・名古屋高工・浜松高工 山梨高工・金沢高工・福井高工入試問題精解』(校風閣 昭十二・七)

志望校別受験叢書刊行会編『東京商大予科・東京商大専門部・東京商大商業職員養成所 大阪商大予科・大阪商大高商部入試問題精解』(校風閣 昭十二・七)

志望校別受験叢書刊行会編『東京商大予科・東京商大専門部・東京商大商業職員養成所 大阪商大予科・大阪商大高商部入試問題精解』(校風閣 昭十二・七)

志望校別受験叢書刊行会編『浦和高校・水戸高校 東京高校・府立高校入試問題精解』(校風閣 昭十二・七)

志望校別受験叢書刊行会編『第一早高・第二早高 早大高師部・早大専門部 慶大法・経・文・医予科 慶大高等部入試問題精解』(校風閣 昭十二・八)

志望校別受験叢書刊行会編『東京農大予・専・水産講習 東京高蚕・京都高蚕 上田蚕糸・千葉高園入試問題精解』(校風閣 昭十二・八)

志望校別受験叢書刊行会編『広島高工・徳島高工 熊本高工・明治専門 南満工専・台南高工入試問題精解』(校風閣 昭十二・八)

志望校別受験叢書刊行会編『東京外語・大阪外語・横浜商専・大倉高商 大連高商・ハルビン学院・東亜同文書院入試問題精解』(校風閣 昭十二・八)

志望校別受験叢書刊行会編『神戸高商・和歌山高・彦根高商・高松高商・関西学院高商・松山高商入試問題精解』(校風閣 昭十二・八)

志望校別受験叢書刊行会編『名古屋高商・横浜高商・小樽高商・福島高商・高岡高商入試問題精解』(校風閣 昭十二・八)

今田哲夫『皇軍受験作文』(子文書房 昭十二・九)  
服部嘉香『新時代文章の仕方研究』(大修館書店 昭十三・二)  
保坂弘司『作文の総合的研究』(欧文社 昭十三・九)

徳本正俊『受験作文の突破』(芳文社 昭十三・十)

塚本勝義編『試験によく出る時局作文の作成法と模範文例』(西東社出版部 昭十三・十一)

谷口為次『受験必勝 作文のあたま』(有精堂 昭十四・四)  
今弘助『第三 受験生の合格作文』(大明堂書店 昭十四・十一)

志望校別受験叢書刊行会編『神戸高商・和歌山高商彦根高商・高松高商 関西学院高商・松山高商入試問題』(校風閣 昭十五・一)

志望校別受験叢書刊行会編『明治大学予科・専門部法政大学予科・高商部・高師部 日大予科・専門部工科・高師部 中央大学予科・立教大学予科 拓殖大学予科・専門部入試問題精解』(校風閣 昭十五・一)

峯岸義秋『最新研究 作文の講義』(山海堂出版部 昭十五・五)  
大嶺詮松『模範作例 受験作文精解』(日本通信大学法制学会 昭十六・四)  
加藤守光『軌範作文解説』(廣文館 昭十六・六)  
高木斐川『作文新講』(教文社 昭十八・十二)

山根久米治『作文模範答案作成法』(昇龍堂書店 昭二十二・三)

保坂弘司『作文の総合的研究』(旺文社 昭二十二・十一)  
日本国語研究会編『最新作文必携 改訂版』(若い世界社 昭二十二・十二)  
西尾光雄『作文要講』(武蔵野書院 昭二十四・四)  
中央書院編集部編『新作文の要点』(中央書院 昭二十四・七)  
大城富士男『作文の研究』(旺文社 昭二十五・五)

※ なお、本稿をまとめるにあたって、国会図書館にて下記の参考書の所載を確認したが、残念ながら現段階では閲覧不可となっている。そこで、今後の研究のために書誌のみ掲げさせていただく。服部嘉香『現代作文教典』(博愛館、大二)、内海弘蔵『高等受験参考作文及文法要説』(宝文館、大五)、受験準備研究会編『高等学校入学試験問題集 明治四二年至大正七年』(若林春和堂、大八)、山本光康編『最近十ヶ年間高等学校入

学試験問題答案詳解』（金刺芳流堂、大十一）、山本光康編『最近五ヶ年間高等学校入学試験問題答案詳解』（金刺芳流堂、大十三）、四方田清次郎編『最近七ヶ年間高等学校入学試験問題答案詳解』（金刺芳流堂、大十四）、谷岡義賢『最新中等作文 純真編』（不老閣書房、大十四）、高木斐川／野畑江村『現代作文の要領』（帝国教育研究会、昭四）、谷岡義賢『作文の要点 全 受験本位』（光世館書店、昭五）、帝国青年会編『高等学校入学試験問題と試験官の答案講評』（帝国青年会、昭七）、三兼大石『学生模範作文集』（芳文堂、昭八）、服部嘉香『現代作文新講』（早稲田大学出版部、昭八）、三省堂編輯所編纂『受験本位の作文 改訂版』（三省堂、昭九）、文部省編纂『直轄学校入学試験問題答案講評 国語・漢文・作文 昭和十年版』（青年教育普及会、昭十）、高木斐川『現代作文講義及文範』

（教文社、昭十）、外山潤『新作文精講』（国民教育会、昭十）、晟弘社編輯部編『高等学校・専門学校国語漢文科入試問題及解答集』（晟弘社、昭十）、吉田辰次『受験作文講話と模範文』（三省堂、昭十）、谷岡義賢『例解作文の自習』（淡海堂出版部、昭十一）、谷口為次『受験作文要訣 四十題主義』（有精堂出版部、昭十二）、相沢鶴藏『受験作文の要訣と其作法』（受験の指針社、昭十二）、塚本哲三『作文学び方考へ方と作り方精説新版』（考へ方研究社、昭十三）、三浦龍夫『作文真髓』（学生の友社、昭十六）、三浦龍夫『作文の実際的研究』（有朋堂、昭二十二）、新興出版社編集部編『全国高等学校入学試験問題集 昭和二十四年度施行』（新興出版社、昭二十四）。

（立教大学文学部教授）